

社会福祉法人 河北会

平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

特別養護老人ホーム さくらぎの里  
さくらぎの里短期入所生活介護事業所  
さくらぎの里居宅介護支援事業所  
グループホーム さくらぎ

## 平成29年度事業報告書（概要）

### 1. はじめに

平成29年度は、中期経営計画の最終年度を迎え、これまでの運営等の見直しを踏まえて臨んだ前年度までの取組みを継続させ、中期経営計画及び単年度事業計画に基づき、法人全体で把握し改善に向けて取組んで参りました。また、社会福祉法人制度改革として社会福祉法の改正が施行された重要な年度でもあったことから、制度改革に対応する財務、組織体制、事業の見直しと法人事務局の機能強化を図って参りました。

制度改革が求める内部統制等の前提となる財務会計の適正化を図るため、四半期決算ごとに出納調査を実施するとともに財務ソフトの活用方法を改善し、法人に事務長を配置することで会計処理に係る権限を明確にし、一元的な管理を行う体制を整備しました。

「中期経営計画」の平成29年度重点項目に対する実績は、前年度から全職員に目標達成への意識付けを周知徹底したものの、外部環境や施設体制等から全ての項目を達成することは出来ませんでした。しかしながら、利用者のため職員の資質向上に重点を置き、法人全体として実施する委員会主体の施設内研修の更なる充実、外部研修への職員の積極的な参加促進等を行い、職員のケアに対する意識改革、利用者個々に応じた質の高い個別的对応ケアの実現を目指し活動して参りました。

地域における公益的な活動として、「I W A T E・あんしんサポート事業」で当法人の職員が相談員として活動し、生活困窮世帯等に対し3件の支援を実施（前年度実績3件）しました。また、相談員についても1名増員しており、今後も関係機関と連携し支援対象者への経済的支援や各種制度・サービスの利用支援等を行って参ります。その他前年度に続き、松園地区地域協働推進委員会保健・福祉部会の事業活動として、家に閉じこもりがちな方に対して、町内会単位の食事会を企画し、これを機会に交流が生まれ、支え合って暮らせる街づくりを目指すことを目的とした「松園地区わくわく食事会」を当施設で開催しました。今後も地域の活性化につなげていくため、地域に密着した施設として受入れられるよう活動して参ります。

平成30年度から新たに今後の事業展開を展望する中期経営計画を策定し、向後3年間の法人経営、施設運営に係る重点事項及び各事業所における取組について明確にすることで安定した経営基盤を確立するよう組織一体となって今後も事業を推進して参ります。

平成29年度事業報告に当たり、施設の利用者並びにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から温かいご支援、ご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

## <法人の運営>

### 1. 利用稼働率について

平成29年度の事業運営について、各事業所の平均利用者数では、特養さくらぎの里では、利用者の重度ゆえの長期入院や退所者が前年度を上回り、退所に伴い新規入所までの空床期間もあったことから、年間平均稼働率で98.6%と前年対比▲1.4%減の実績となった。

さくらぎの里短期入所生活介護では、利用者数減少に歯止めをかけるべく、前年度末から他事業所への空床情報の提供等稼働率の改善に向け活動強化した結果、期初から満床状況が続き、稼働率80.8%と前年対比+14.1%の大幅増となった。

さくらぎの里居宅介護支援事業所では、特養への再入所による新規件数が多かったため、特養への移行による解約、また死亡等による解約件数増加し、月平均件数24.6件と前年度とほぼ横ばいの実績に留まった。その中で地域包括センター等との情報交換を密にした結果、介護予防で8件の新規先確保につながった。

グループホームさくらぎについては通年での稼働となり、入院等により7名の退所者があったものの、新規入所までの空床期間を極力減らすことで、ほぼ満床を維持し平均稼働率99.4%の実績となった。

### 2. 決算内容について（拠点区分毎）

#### (1) 特別養護老人ホームさくらぎの里

事業活動計算書での介護保険事業収益において、上記理由のとおり、特養では前年対比若干の減収となったが、短期入所で18.9%増、居宅では11.4%増の296,423千円と前年対比+5,097千円の増収となった。当期活動増減差額では、事業費では厳冬により光熱費で前年比+13.8%増、事務費にて事務消耗品費の増加、また人員確保のための人材紹介手数料の負担等により、前年対比+3.1%の増加となったが、増収により31,686千円の計上と前年対比+23.4%の増益となった。

#### (2) グループホームさくらぎ

平成29年度は初めて通年での事業運営となるため、前年との比較は出来ないものの、ほぼ満床での稼働となったことから、介護保険事業収益で79,814千円の実績となった。当期活動増減差額については、特養と同様に光熱費負担増となったものの、派遣職員から直接雇用への転用等により人件費負担を軽減し、4,201千円の計上と黒字確保した。

以上より、法人全体では介護保険事業収益で376,238千円（前年対比+32,500千円）と前年対比9.5%の増収、当期活動増減差額35,887千円（前年対比+21,663千円）と前年対比152.3%の増益となった。

※上記内容の根拠資料については、【別紙1-①】利用者稼働状況

【別紙1-②】財務分析表（個別指標診断結果）

### 3. 理事会・評議員会の開催状況

#### (1) 理事会の開催状況

回数	月 日	場 所	出席者	議 案
1	29.5.31	3階地域交流センター	理事8名 欠席0名 監事2名	議案第1号 平成28年度社会福祉法人河北会事業報告及び決算報告（計算書類及び財産目録）の承認について
				議案第2号 社会福祉法人河北会経理規程（案）の全部改正について
				議案第3号 平成29年度社会福祉法人河北会定時評議員会の日時・場所・議題等の決定について
2	29.6.20	3階地域交流センター	理事6名 欠席0名 監事2名	議案第1号 社会福祉法人河北会理事長の選任について
				議案第2号 社会福祉法人河北会役員及び評議員の報酬等に関する規程の全部改正及び旅費規程の一部改正について
3	29.10.4	3階地域交流センター	理事6名 欠席0名 監事2名	報告第1号 理事長職務執行状況報告
				議案第1号 社会福祉法人河北会苦情処理規程の全部改正について
				議案第2号 社会福祉法人河北会各種謝礼金支給規程の一部改正について
4	30.1.24	3階地域交流センター	理事6名 欠席0名 監事2名	報告第1号 理事長職務執行状況報告
				議案第1号 平成29年度社会福祉法人河北会資金収支予算（第1次補正）について
				議案第2号 平成29年度社会福祉法人河北会第2回評議員会の日時・場所・議題等の決定について
5	30.3.14	3階地域交流センター	理事6名 欠席0名	報告第1号 理事長職務執行状況報告

			監事 2名	議案第1号 平成29年度社会福祉法人河北会資金収支予算 (第2次補正)について
				議案第2号 平成30年度社会福祉法人河北会中期経営計画 (案)について
				議案第3号 平成30年度社会福祉法人河北会事業計画(案) について
				議案第4号 平成30年度社会福祉法人河北会予算(案)につ いて
				議案第5号 平成30年度社会福祉法人河北会積立金計上につ いて
				議案第6号 平成29年度社会福祉法人河北会第3回評議員会 の日時・場所・議題等の決定について

(2) 評議員会の開催状況

回数	月日	場所	出席者	議案
1	29.6.14	3階地域交 流センター	評議員7名 欠席0名 監事2名	議案第1号 平成28年度社会福祉法人河北会事業報告及び 決算報告(計算関係書類及び財産目録)について
				議案第2号 社会福祉法人河北会役員(理事・監事)改選に伴 う選任について
				議案第3号 役員報酬等基準の制定に伴う役員及び評議員の 報酬等に関する規程の全部改正について
				議案第4号 平成29年度の理事及び監事に対する報酬の総 額について
2	30.2.20	3階地域交 流センター	評議員6名 欠席1名 監事2名	議案第1号 平成29年度社会福祉法人河北会資金収支予算 (第1次補正)について

3	30.3.29	3階地域交流センター	評議員7名 欠席0名 監事2名	議案第1号 平成29年度社会福祉法人河北会資金収支予算 (第2次補正)について
				議案第2号 平成30年度社会福祉法人河北会中期経営計画 (案)について
				議案第3号 平成30年度社会福祉法人河北会事業計画(案) について
				議案第4号 平成30年度社会福祉法人河北会予算(案)につ いて
				議案第5号 平成30年度社会福祉法人河北会積立金計上につ いて
				議案第6号 理事及び監事に対する報酬の年間支給総額につ いて

### 3. 出納調査

監査報告	監査期間	報告者	所見ほか
29.9.15	H29.4.1~29.6.30	2名	試算表・総勘定元帳等 指摘事項なし
30.1.12	H29.7.1~29.9.30	2名	試算表・総勘定元帳等 指摘事項なし
30.3.9	H29.10.1~29.12.31	2名	試算表・総勘定元帳等 指摘事項なし

### 4. 監事監査報告

監査報告	監査期間	報告者	所見ほか
30.5.17	H29.4.1~30.3.31	2名	平成29年度計算書類・附 属明細書・財産目録等 指摘事項なし

### 5. 入所判定委員会

入所に関して透明性、公平性を確保するため、入所判定委員会を下記の計3回開催し、11名の利用者が入所した(内入所後、入院等により3名退所)。

開催数	開催日	入所者数
第1回	H29. 9. 13	7名
第2回	H29. 11. 2	9名
第3回	H30. .2. 2	6名

#### 6. 苦情対応委員会

利用者の権利を擁護し、適切な施設運営を行うため、苦情受付窓口担当者及び苦情解決責任者を引続き配置し、平成29年7月5日、平成30年1月11日、平成30年3月29日の計3回開催した。苦情件数については、年間通じて特養1件、短期入所2件、居宅介護支援事業所1件、グループホーム2件の計6件の苦情があった。

苦情につながった要因は次のとおりである。

事業所別	件数	苦情内容
特養さくらぎの里	1	保温性確保と食事介助への不満
さくらぎの里短期入所	2	早朝の更衣介助における処遇
		早朝の更衣介助と対応への不満
さくらぎの里居宅介護	1	認定調査員の対応への不満
グループホームさくらぎ	2	外出時に下着交換失念への不満
		病院受診結果の報告方法への不満

居宅を除く苦情要因は全て職員の配慮不足や職種間の連携と共通認識不足から発生しており、改めて「介護の仕事の携わり方」としてマニュアルを作成するとともに職場のルールについても再徹底することで、苦情に対し全職員が真摯に受け止め、改善に向けて取り組んでいる。今後も苦情に対する改善策について、委員会を通して全体で統一し支援に努めることとした。

#### 7. 人材確保・継続雇用について

人材確保については介護業界全体の課題となっているが、当法人では人材確保の具体的手段として、合同就職説明会への参加、ハローワーク・介護人材センターの求人での継続的募集、福祉系の学校訪問、介護労働安定センターの求人募集等実習生の受入を積極的に実施し、高校の新卒者2名と介護労働安定センターから2名介護員を採用した。しかしながら、求職者の絶対数が少ないため人材確保が困難を極め、主に人材紹介会社により特養で介護職員5名、グループホームで看護師1名、介護職員1名を確保したことにより紹介手数料の負担増加につながった。

#### 8. 職員の資格取得について

平成29年度は、新たに介護福祉士6名（特養2名、グループホーム4名）、医療的ケア第一号研修修了者1名、同第二号研修修了者2名、認知症介護基礎研修1名（特養1名）、認知症介護実践者研修2名（特養1名・グループホーム1名）が資格を取得した。

### 9. 介護職員処遇改善交付金

- (1) 平成29年度も引続き介護職員の処遇改善を目的とし岩手県に処遇改善計画を申請、承諾を得て実施し併せて盛岡市へ処遇改善体制加算を申請し、受理された。
- (2) 賃金改善期間内の賃金改善額については、処遇改善交付金の受給総額を上回る額を介護職員全員に支給し賃金改善を行った。

## <特別養護老人ホームさくらぎの里、短期入所生活介護事業所の運営>

### 1. 施設整備の状況

#### (1) 修繕について

平成29年度は、前年度に続きエアコンの室外機（コンプレッサー等）の度重なる故障により修繕費で1,227千円を計上。また、厨房機器及び業務用洗濯機についても故障多発し業務に支障来すことから、次年度に洗濯機及び食器消毒保管庫について代替購入予定。

#### (2) その他

各部署の業務用パソコンが経年劣化により、故障続いたため11台代替購入。また、厨房の食器洗浄機及び3ユニットの食器洗浄機も故障したことから代替購入。その他、災害避難用として新たに救護用担架を2台購入した。

※整備状況の詳細については、【別紙2】の一覧表のとおり

### 2. 総合防災訓練の実施状況

実施月	想定内容	訓練内容	参加者
8月8日	日中想定	総合訓練 (消火・通報・避難誘導・消火器使用方法・屋内消火栓)	職員 18名 利用者 6名
12月28日	日中想定	総合訓練 (消火・通報・避難誘導・消火器使用方法等)	職員 22名 利用者 5名

### 3. 広報委員会

- (1) 広報「さくらぎだより」は、年度初めに委員会にて年間で四半期毎に発行部数4部を目標とし、各行事や項目毎に担当者を決めて進めてきたものの、日常業務に追われ、年間3部の発行に留まった。
- (2) ホームページについては、前年度に新たにホームページを開設以降、特養及びグループホームの施設概要やサービス概要、情報公開、求人情報等内容を分かりやすくし、行事等の実施の都度更新することで、閲覧件数が大幅に増加した。今後も定期的に更新し、各施設のアピール強化を図っていくこととしている。

#### 4. 安全委員会（身体拘束委員会・事故対策委員会）の活動

(1) 平成29年度は、毎月1回の定例的に開催に拘わらず、リスク問題となる前に防止策を立てる等随時開催している。翌月初のリーダー会議で報告すると共に問題提起し改善を図っている。また毎月の回診時に合わせ経過報告を行った。

##### (2) 事故・ヒヤリハット報告

利用者の重度化傾向進み、人員体制が厳しい中で、平成29年度の事故・ヒヤリハット件数は229件（前年度232件）と3件の減少となった。新人介護職員も増えてきたことから、報告書を作成することに慣れる、作成方法を覚える、情報を共有することを主として、昨年からの些細なことでも報告書を作成する意識を高めることを目的としており、当初の課題は達成出来たものの、大幅な発生件数の減少には至らなかった。

報告分析結果として、早朝から昼までの利用者の活動が多い時間帯の発生件数が多いことが考えられ、その中で認知症の利用者が多く幻視があり、思い違いが起こりやすい等により、物を拾う動作があることで車椅子から転落、ずり落ちが多かった。

外傷については高齢であるが故の皮膚の脆弱によるものが要因と史料される。

平成30年度は、ケアの不適切による事故、繰返し起こる内容等、安全委員会で引き続き防止策を検討するとともに、施設全体で事故予防に向けたリスクマネジメント、職員の育成に取組み、再発防止に努めていくこととしている。

(3) 身体拘束については、毎月安全委員会と併せて開催し、利用者の不穏状態等の観察や見守りを行い、コミュニケーションを図ることで身体拘束ゼロの継続を目標に実施した結果、平成29年度も身体拘束は1件もなかった。

(4) 感染症については、例年通り感染症対策強化として、手洗い・清掃月間を設け実施したほか、ノロウイルス等の感染による嘔吐物の処理方法として1週間連続して研修を実施する等、施設全体で日々の予防に努めたことで、前年度に続き利用者のインフルエンザ、ノロウイルス等の発生はなかった。

※平成29年度事故・ヒヤリハット報告の発生件数等の詳細は【別紙3】を参照。

#### 5. 研修委員会の活動（介護サービスの質の向上を重視）

平成29年度は、介護労働安定センターから外部講師を招き、「介護技術向上研修会」として利用者の移乗方法等について勉強し、職員の介護技術に対するローカルルールを払拭するには良い機会となった。また、リスクマネジメント研修会や虐待防止研修会等の外部研修にも積極的に参加させ職員の資質向上を図った。

##### ① 施設内研修実施状況

開催日時	研修内容		講師
29.5.17 5.31	実習指導者研修 報告会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修内容報告</li> <li>・実習生の受入れにあたっての職員の指導方法</li> <li>・実習プログラム作成方法等</li> </ul>	大堂介護主任 阿部実習指導者

29.6.14 6.28	ユニットリーダー 研修報告会	・ユニットケアの理念と意義 ・ユニットケアのポイント ・24時間シート作成ポイント等	大堂介護主任
29.8.9	介護技術向上研 修会	・全介助、一部介助の利用者への移乗方法 ・ボディメカニクス7つの原理等	介護労働安定センター 菅原氏
29.10.24	口腔ケアについ て	・口腔ケアの必要性と根拠 ・奥地の健康と全身の関わり ・口腔ケア方法等	佐藤ひろし歯科医院 佐藤院長
29.12.7 ～12.13	感染症対策	・インフルエンザ、ノロウイルス感染予防、嘔 吐物処理の方法について	藤田 ミ子 (看護主任) 介護員
29.12.13 12.27	認知症の方への 理解	・認知症の原因や症状について ・認知症の方への対応方法等	藤田看護主任
30.1.24 1.30	緊急時の対応に ついて	・緊急時の対応方法 ・症状別の疾患の読み取り方や対応や処置方法 ・酸素ボンベの使用方法等	藤田看護主任

## ② 施設外研修受講状況

日時	主催	テーマ	参加職種	参加者
29.5.24	社会福祉法人岩手県 社会福祉事業団	リスクマネジメント研修【基礎編】	介護主任	大堂公晋
29.7.5 ～7.6 7.13 ～7.14	社会福祉法人岩手県 社会福祉事業団	平成 29 年度福祉職員キャリアパ ス対応生涯研修課程（初任者編）	介護員 介護員 介護員（GH）	森田美智子 作山隆之 中済由紀
29.6.7	盛岡市保健所	平成 29 年度給食従事者研修会	管理栄養士	鈴木麻希
29.6.15 ～10.19 29.7.4 ～10.5	岩手県社会福祉協 議会	平成 29 年度岩手県介護職員等医 療的ケア研修 （第一・二号研修）講義 演習	ユニットサブ リーダー ユニットサブ リーダー 介護員 介護員	中條貴純 菅崎貴弘 菅野敬浩 草木繁也
29.6.26 ～ 6.27	岩手県社会福祉協 議会	平成 29 年度社会福祉従事者新任 研修会	介護員	作山隆之
29.6.20	社会福祉法人岩手県 社会福祉事業団	平成 29 年度虐待防止研修会【基 礎編】	介護員	畠山修司

29.6.21	社会福祉法人岩手県 社会福祉事業団	平成29年度虐待防止研修会【応 用編】	介護主任	大堂公晋
29.6.17	盛岡市保健福祉部介 護保険課	平成29年度介護認定審査会委員 新規研修	事務長	武藤香織
29.7.24 ～7.28 9.5	公益財団法人いきい き岩手支援財団	平成29年度岩手県認知症介護基 礎研修	介護員	中田信孝
29.7.24 ～7.28 9.5	公益財団法人いきい き岩手支援財団	平成29年度岩手県認知症介護実 践者研修	ユニットリー ダー 介護員（GH）	千葉北斗 嶋野有紘
29.7.7	中央ブロック高齢者 福祉協議会	平成29年度中央ブロック高齢者 福祉協議会 第1回看護部会研究会	看護主任 看護師	藤田ミ子 三上真一
29.7.27	岩手県社会福祉協 議会	平成29年度制度改革フォローア ップセミナー	理事長 総務課長	雪ノ浦昭子 小田島敦史
29.8.28 ～8.29	いわてユニットケ ア研究会	いわてユニットケア研究会「第 21回研修会」	介護支援専門員 介護員	中田桂敏 立花 尚
29.9.27 ～9.28	社会福祉法人岩手県 社会福祉事業団	平成29年度福祉職員キャリア パス対応生涯研修課程【中堅職 員編】	ユニットサブ リーダー ユニットサブ リーダー	鳥居裕子 松村江利子
29.8.21 ～8.22	岩手県立大学	平成29年度岩手県社会福祉研 修「相談支援研修」	生活相談員	坂本真紗美
29.9.7 ～9.8	全国老人福祉施設協 議会	平成29年度東北ブロック老人 福祉施設研究会	施設長 事務長 介護主任 介護員 看護師	雪ノ浦昭子 武藤香織 大堂公晋 久保田祐司 菅野久美子
29.9.20	社会福祉法人岩手県 社会福祉事業団	平成29年度支援力を高めるコ ミュニケーションスキル研修	介護員 介護員	草木繁也 鹿棘優太
29.8.23	滝沢市地域包括セン ター	滝沢地域ネットワーク会議及 び在宅医療介護連携研修会	介護支援専門員	中田桂敏
29.9.29	岩手県社会福祉協 議会高齢者福祉協議会	2018 診療報酬・介護報酬の同 時改定及びI O Tの現場導入 と活用に関するセミナー	事務長 総務課長 GH管理者	武藤香織 小田島敦史 小林日和
29.10.10 ～11.29	公益財団法人いきい き岩手支援財団	平成29年度岩手県介護支援専 門員更新研修	介護支援専門員	中田桂敏

29.9.28	岩手県社会福祉協議会	平成 29 年度社会福祉法人経営戦略セミナー	事務長	武藤香織
29.9.28	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 29 年度中央ブロック高齢者福祉協議会第 1 回生活相談員・介護支援専門員研究会	介護支援専門員	中田桂敏
29.10.2	岩手労働局	非正規雇用労働者の正社員化等の取組のための事業主セミナー	総務課長	小田島敦史
29.11.14	岩手県福祉サービス運営適正化委員会	平成 29 年度福祉サービス苦情解決情報交換会	施設長	雪ノ浦昭子
29.10.10 29.12.11	NPOいわての保健福祉支援研究会	平成 29 年度感染症・食中毒予防対策研修プログラム	調理員（栄養士）	安本真美
29.10.24	岩手県社会福祉協議会	ノーマリゼーションセミナー・シンポジウム In 岩手	施設長	雪ノ浦昭子
29.10.5 ～10.6	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 29 年度中央ブロック高齢者福祉協議会新任職員研究会	介護員 介護員 調理員（栄養士）	草木繁也 佐々木ヒロ子 安本真美
29.10.31	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 29 年度中央ブロック高齢者福祉協議会第 2 回看護部会研究会	看護師	管野久美子
29.10.31	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 29 年度中央ブロック高齢者福祉協議会職員研究会給食部会第 1 回研究会	調理員（栄養士） 調理員（栄養士）	山口侑子 安本真美
29.11.2	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 29 年度中央ブロック高齢者福祉協議会第 1 回介護部会研究会	ユニットサプリーダー ユニットサプリーダー 介護員（GH）	中條貴純 細越由貴子 佐々木要祐
29.11.2	盛岡市保健所	平成 29 年度感染症集団発生予防研修会	看護師	三上真一
29.11.17	全国社会福祉法人経営青年会	平成 29 年度北海道・東北ブロック定例勉強会	事務長	武藤香織
29.11.28.	社会福祉法人岩手県社会福祉事業団	平成 29 年度メンタルヘルス研修【管理者編】	ユニットリーダー ユニットリーダー	大畑英弘 久保田祐司
29.11.17	全国社会福祉法人経営青年会	平成 29 年度北海道・東北ブロック定例勉強会	事務長	武藤香織
29.11.17	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 29 年度事務長等研修会	事務長 総務課長	武藤香織 小田島敦史

29.11.25	岩手県社会福祉法人 経営者協議会 岩手県社会福祉士会 地域活動委員会	生活困窮者支援研修会 あんしんサポート相談員スキルア ップ研修会	事務長	武藤香織
29.12.2	独立行政法人国立病 院機構盛岡病院	平成 29 年度結核医療研修会	看護主任	藤田ミ子
29.11.30	いわてユニットケア 研究会	いわてユニットケア研究会 第 2 2 回研修会「24 時間シート について」	ユニットリー ダー (GH) ユニットサブ リーダー	久保 誠 菅崎貴弘
29.12.5	岩手県社会福祉法人 経営者協議会	平成 29 年度社会福祉法人制度改 革フォローアップセミナー【後期】	理事長 総務課長	雪ノ浦昭子 小田島敦史
30.2.26	中央ブロック高齢者 福祉協議会	平成 29 年度中央ブロック高齢者 福祉協議会総会並びに施設長研修 会	施設長	雪ノ浦昭子
30.1.19	岩手県福祉サービ ス運営適正化委員会	盛岡地域福祉サービス苦情解決情 報交換会 (基礎研修)	生活相談員 (苦 情窓口受付担 当者)	中村健太郎
30.1.18	公益財団法人いきい き岩手支援財団	平成 29 年度岩手県高齢者権利擁 護看護実務者研修会	看護師	佐々木多美子
30.1.15	介護労働安定センタ ー	介護記録の書き方	介護員	樋本陽子
30.1.17	盛岡広域振興局保健 福祉環境部	「いわていきいきプラン 2020」 地域説明会	施設長	雪ノ浦昭子
30.1.18 ～1.19	中央ブロック高齢者 福祉協議会	平成 29 年度中央ブロック高齢者 福祉協議会職員研究会	事務長 生活相談員 看護師	武藤香織 中村健太郎 三上真一
30.1.31	岩手県社会福祉法人 経営者協議会	2018 診療報酬・介護報酬改定対策 セミナー	理事長 総務課長	雪ノ浦昭子 小田島敦史
30.2.9	岩手県社会福祉協 議会	社会福祉法人制度改革対応研修会	理事長 総務課長	雪ノ浦昭子 小田島敦史
30.2.5	岩手県社会福祉協 議会	平成 29 年度地域福祉推進トップ セミナー	理事長	雪ノ浦昭子
30.2.20	岩手県社会福祉法人 経営者協議会	平成 29 年度第 2 回あんしんサポ ート相談員養成研修	生活相談員	中村健太郎
30.3.8	盛岡市保健福祉部介 護保険課	平成 29 年度新人介護職員向け人 材育成研修	介護員	小笠原正樹

30.3.19	岩手県保健福祉部長 寿社会課	平成30年度介護報酬改定等説明 会	理事長 事務長	雪ノ浦昭子 武藤香織
30.3.28	岩手県社会福祉法人 経営者協議会	第2回 2018 介護報酬改定対策セ ミナー	理事長	雪ノ浦昭子

## 6. 実習生の受入状況

種 別	学 校 名	受人数
看護・介護体験実習	岩手医科大学 医学部・歯学部	6名
介護職員実務者研修	介護労働安定センター	3名
介護体験	みちのくみどり学園	1名
	青松支援学校	1名
	杜陵高校	2名
	北松園中学校	10名

## 7. ボランティア・福祉体験受入れ・行事等の状況

### (1) 受入れ状況

唄や踊り、傾聴ボランティア等の定期的なボランティアを例年通り実施した他、コールパレットコンサート等新たなボランティアの受入れることで、地域交流を持ち社会参加の機会となり、利用者だけでなく家族からも喜ばれた。また、動物とのふれあいとして馬っこパークへの外出、中央公民館や高松の池の桜を観覧、盛岡秋祭りの山車見学を実施し、利用者との更なるコミュニケーションを図った。

### (2) 施設行事・ユニット行事実施状況

【別紙4】のとおり

## 8. 利用者家族交流会の開催

平成30年3月10日に、22世帯で総勢38名の家族の参加の下、当厨房の手作りバイキングの昼食をとりながら、職員とコミュニケーションを図り、日頃感じている事や施設に対する要望について、アンケートを実施したほか、直接ご意見を頂く等、盛会裡に終了した。アンケートの中で職員の応対等に対するご意見は感謝の言葉が多かったが、行事に対するアドバイスもあったことから今後の活動に活かして参りたい。

皆様からいただいた要望やご意見を取り纏め、職員全員に周知し、より良い介護サービスを提供出来るよう改善に向けて今後も取り組んでいくこととする。

## 9. 生活介護係

### (1) 個別ケア

利用者個々の状態把握に努め、各職種とも情報共有しながら連携を図り、より良いサ

ービスを提供できるよう創意工夫を行った。また、利用者の日常生活においては、寝たきりにならないよう、離床時間を適宜行い、職員との触れ合いも大切にしながら信頼関係の構築に努めた。

## (2) 認知症ケアの確立

日常においては、利用者の個々の思いを知るために職員間との情報交換やご家族の方へ相談し協力を得ながら、利用者が快適に暮らせるよう支援した。

施設内研修では事例を取り上げ、グループワークを中心として行い、職員個々の意見交換を行うことで、認知症についての理解をより深め、柔軟な対応をする上での大きなヒントとなった。

## (3) 行事・外出・趣味活動について

季節に合わせて外の景色を楽しんだり、旬のものを食しユニット行事を通して、利用者職員との楽しい時間を過ごすことが出来たが、ユニットにより行事開催にバラつきがあり、人員体制を考慮した企画・立案が求められる1年となった。また、個々の趣向を取り入れ、外部講師によるクラブ活動を充実させた。

## 10. 医務室

### (1) 利用者の健康管理、体調不良時の迅速、不穏時の対応について

- ① 健康診断、入所時検査、定期採血を実施することにより、利用者の健康状態を把握し、体調不良時には早期に受診し、健康管理に努めた。
- ② 居室の温度、湿度、掛物の調整を行い、介護職員と連携を図り、健康維持・管理に努めるとともに、居室の清掃を徹底し感染症対策を行った。
- ③ 発熱、下痢、嘔吐、皮膚トラブル、経管栄養の滴下不良に対して受診し、内服薬点滴の指示を受け、胃ろうの交換を行って、健康の維持を努めた。
- ④ 利用者の体調や病状等を逐次ご家族に報告・説明することで信頼に努めた。
- ⑤ 認知機能低下により、帰宅願望のある利用者について、他職種間の連携を図り、職員の配置を検討し見守りを強化することで身体拘束をすることなく利用者の安全を確保した。
- ⑥ 経管栄養の利用者の口腔ケアを実施することで、肺炎予防や口腔内の清潔保持に努めた。

### (2) 協力病院との連携

病院受診の際に、意向を伺う都度、情報提供する事で協力病院との連携に努めた。

### (3) 介護職員の医学的知識の提供、指導

施設内研修の他、申し送りの際に職員に対し、利用者の状態や疾患について情報提供した。また、「事故発生時・緊急時対応マニュアル」について見直しを図った他、救命救急機器の使用手法についても施設内研修として指導を行った。

### (4) 医療的ケアの研修の実施について

介護職員4名が医療的ケアの研修を受講。実地研修を実施し4名が資格取得した。

### (5) 全職員に対する感染症の防止と予防の徹底について

- ① 手洗い、エプロン、マスク装着の指導
- ② ユニット、特に水回りの清潔を維持することを指導した。

- ③ 拡大防止の為に、統一した申し送りを実施。適正な消毒剤の使用方法を徹底した。
- ④ 各居室の清掃をこまめに行い、感染予防に努めた。
- ⑤ 感染症マニュアルに従い、施設内研修を実施し感染症（インフルエンザ・ノロウイルス）について、全職員に周知徹底した。また、感染委員の指導による介護職員の汚物処理の実演も1週間実施した。

## 1.1. 機能訓練

### (1) 施設利用者様の身体機能低下予防と介護予防活動の活発化

- ① リハビリの内容については、機能訓練指導員が各利用者様の評価を行い、ケースカンファレンスにおいて、他部署と検討し担当者会議等を通して、利用者又は利用者家族にリハビリ計画に同意を得ている。日常生活において、実施可能な活動や動作が継続・維持されるように生活リハビリを中心として、ユニット職員と共に働きかけを行い、機能訓練指導員が個別に必要な運動を実施した。特別養護老人ホームへの入居基準が要介護3以上となり、現在要介護度平均4.2程度で実用的な歩行は困難となってきており、運動の一環としての歩行練習に留まっている。また、ベッド上での運動（関節の拘縮予防）を必要とされる方が増加傾向にあるため、平成30年度についても他部署や特にユニット介護職員と協力し、実施していくこととする。
- ② 介護予防活動や社会参加の取組みとして、ユニット行事や施設行事の他、各種アクティビティ、コーラス活動、各種ボランティア、園芸活動、サークル活動（臨床美術・フラワーアレンジメント）、外出、グループ体操については前年度と同様に実施することができた。また、映画上映会についても前年度と同様に体験型映画上映会を実施し、新たに平成30年1月には「みずき団子作り」を実施した。行事には地域住民の方々にもボランティアとして来設していただく機会が増え、平成30年度以降についても継続して参りたい。

※リハビリ実施状況については、【別紙4】の行事・ボランティア一覧表のとおり

## 1.2. 栄養課

### (1) 快適な食生活を送れるよう支援した。

- ① 栄養並びに心身の状況を考慮した栄養ケアマネジメントの実施
  - 一人ひとりの身体状況、咀嚼・嚥下機能、嗜好・意向等や、多職種からの情報を基に栄養ケアマネジメントを実施し、各利用者様に合った食事の提供に努めた。
- ② 栄養面や嗜好面に考慮したメニューの作成、行事食の実施
  - ・栄養目標量に基づき献立を作成し、摂取が難しい栄養素も、味を重視して栄養強化食品を選択し、利用者様に無理なく摂取して頂けるよう努めた。また、食材も旬のものを取り入れ、冬季には土鍋料理も提供し、食事からも季節が感じられるよう取り組んだ。
  - ・管理栄養士のみならず、調理員もユニットを回り、利用者の意見を聴取した上で巡視記録は給食会議の参考資料とし、改善につなげることができた。

- ・食塩量については、前年度に続き、だしわり醤油の使用、味噌汁・漬物の調整、盛り付けの統一で年間平均では目標の7g未滿に抑えることができた。
- ・刻み食、ゼリー食の利用者への対応は、盛り付けの工夫や、調理法も食材によっては刻まずに提供できる方法を検討した。

(2) 食中毒や感染症の発生防止

① 日常的な注意喚起と衛生管理、予防を徹底した。

- ・日頃から食材・器具・調理場の衛生管理を徹底し、インフルエンザやノロウイルス流行時には消毒等により一層強化し、安全な食事の提供に努めた。
- ・衛生害虫防除については、厨房内は業者による点検を月1回実施し、ユニット等で衛生害虫が発生した場合も、業者による点検・必要時には薬剤散布をその都度実施し、衛生管理を徹底した。

(3) 行事食やセレクト食の実施

①行事食については、敬老会の松花堂弁当やクリスマスケーキ、大晦日の松花堂弁当、年越しそばの他、祝日に合わせた行事食、三寿司やちゃんこ太五郎による専門店の味、普段とは異なった雰囲気での食事も楽しんでいただけるよう取り組み、利用者や家族、職員にも好評であった。

セレクトおやつは、季節や行事に合わせた内容で実施した。

②行事食（おやつセレクト含む）の実施状況

年	月	食事の内容
29	5	こどもの日（昼食：穴子ちらし、おやつ：柏餅）
	7	七夕（昼食：七夕そうめん、おやつ：七夕和菓子セレクト） セレクトおやつ：プリン 夏祭り（昼食屋台メニュー：カレーライス、たこ焼き） 土用の丑（昼食：お好みひつまぶし）
	8	お盆（昼食：赤飯、煮しめ、おやつ：和菓子セレクト）
	9	敬老会（昼食：松花堂弁当、おやつ：紅白まんじゅう） 敬老の日（おやつ：和菓子セレクト） セレクトおやつ：洋菓子 セレクトおやつ：ロールケーキ
	10	十五夜（おやつ：十五夜ゼリー）
	11	寿司の日（昼食：三寿司慰問・にぎり寿司） 鮭の日（昼食：鮭ちらし） 介護フェア（おやつ：喫茶メニュー）
	12	セレクトおやつ：クレープ クリスマス会（おやつ：クリスマスケーキ） クリスマス（昼食：クリスマスプレート おやつ：クリスマスケーキ(白石食品工業より寄贈)） 大晦日（夕食：松花堂弁当、年越しそば）
30	1	正月料理

		人日の節句（昼食：七草粥） おやつセレクト：中華まん 鍋料理（昼食：酒かす鍋）
	2	節分（昼食：太巻き・にぎり寿司、かぶと鰯つみれの煮物） おやつ：金時豆 おやつセレクト：洋菓子 バレンタインデー（おやつ：手作りガトーショコラ） 鍋料理（昼食：冬野菜の中華鍋） ちゃんこ巡業（昼食：ちゃんこ太五郎慰問）
	3	ひなまつり（昼食：あさりちらし、おやつ：桜餅、甘酒） ホワイトデー（おやつ：ケーキセレクト） 鍋料理（昼食：みそ豆乳鍋）

### 1.3. 中期経営計画の「問題解決に向けた取組み」に対する実績及び評価

#### (1) 施設部門

##### 〈問題解決に向けた取組み〉

課 題	経営計画推進体制の確立		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期経営計画が日常的に意識できるよう、毎月のリーダー会議・職員会議にて資料として配布し、職員への意識付けを行う。</li> <li>・中期経営計画の振り返り、進捗状況の確認をリーダー会議等で発表し職員に把握させるとともに職員の意見を集約し改善・向上につなげていく。</li> </ul>		
	目標項目	平成29年度	
		目標値	実績
	リーダー会議・職員会議での進捗状況の確認回数	四半期毎	年4回実施
			四半期毎の実施ができなかったものの、リーダー会議及び職員会議で進捗状況について確認し目標達成に向け促した。

課 題	利用者・家族の満足度と接遇マナーの向上
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇マナー研修会の実施、自己チェックによる振り返り、ケースに応じた職員への個別指導の徹底により、接遇マナーを向上させる。</li> <li>・利用者の尊厳を重視したサービスが浸透するよう、権利擁護に関する研修会を実施する。</li> <li>・利用者、家族及びボランティアに満足度に関するアンケートを実施、また、継続して第三者委員による聞き取り調査を実施し、その結果を踏まえ、要因分析と改善策を全職員に徹底することで満足度の向上に取り組む。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者家族に対して、カンファレンス・面会時の際に、要望や意向を聞き取る。</li> <li>・広報「さくらぎだより」を定期発行し、家族懇談会や制度改正説明会を通して、積極的な情報提供と意見交換を行い、家族とのつながりを強化することで家族が相談しやすい体制を構築する。</li> </ul>		
目標項目	平成29年度		
	目標値	実績	目標対比
利用者・家族・ボランティアへのアンケート実施回数	年1回	1回実施	3月10日開催の家族交流会にてアンケート実施。アンケートの他、苦情対応委員会第三者委員と傾聴ボランティアの方々による聞き取り調査を実施した。
上記アンケート結果による満足度	80%	92% (総体平均)	上記実施のアンケート結果では相談・情報提供等の満足度で95%、職員の対応については5段階評価で「良」以上が89%の利用者家族の満足度となり、前年度を上回る結果となった。平成30年度は要望・ご意見について真摯に受け止め、「職員ルール」、「介護の携わり方」を明確化し接遇に対する意識を向上を図ると共に、更に満足度を高めるため、施設全体で改善に向けて取り組んでいく。

課題	地域に根ざした施設運営の推進		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元町内会等地域住民に対して、介護福祉に関する教室、講演会等を開催し地域貢献につなげる。</li> <li>・地域のお祭り等の行事に参加し、積極的に交流を図る。</li> <li>・施設行事に地域住民の参加を勧める。</li> <li>・災害時や高齢者の搜索等緊急時にも積極的に協力する。</li> <li>・岩手県社会福祉協議会ボランティア（市民活動センター）等を通じ、ニーズにあった新規ボランティアの確保を行う。</li> </ul>		
目標項目	平成29年度		
	目標値	実績	目標対比
地域住民向けの介護教室・講演会の開催実施	3回	1回	近隣町内会と講演会の開催について企画・検討したものの、日程調整

			出来なかったものの、松園地区民生・児童委員協議会の民生委員20名程度が参加し高齢者福祉対策部会研修会として開催実施した。
ボランティアの積極的受入	6回	35回	介護ボランティア、絵本の読み聞かせ等で計35回のボランティアを積極的に受入した。

課 題	施設機能の地域への開放		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の福祉ニーズ調査を行い、実施可能なことから優先して取組む。</li> <li>・行政等のボランティア関係機関の活動団体を積極的に活用し地域とのつながりを大切にする。</li> <li>・第三者委員会等から施設への提言を頂く。</li> <li>・ボランティア、町内会、自治会等地域の方々に施設活動への参加を呼びかける企画を立案する。</li> </ul>		
目標項目	平成29年度		
	目標値	実 施	目標対比
地域の福祉ニーズの調査及び取組み	検討 実践	松園地域の一部の町内会との講演会企画したものの日程調整付かず開催に至らず。	ボランティアについては新たな団体等も積極的に受入れしており、また松園地区の「わくわく食事会」にも参加し、当施設でも開催しており、その際地域住民としての意見を取り入れ今後の活動を検討している。

課 題	職員研修の充実と専門性の向上		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員を対象に定期的に施設内研修を実施し、勤務体制の状況によっては時間外での開催も検討する。引き続き外部研修に積極的に派遣し、復命研修や他職員に対してOJTを行い、日常業務の中で実践していく。また、OJTでの指導を活性化させ、共に気付きを向上させる取組みを行っていく。</li> <li>・施設内研修に、外部講師も積極的に招聘する。</li> <li>・職員の資格取得を奨励し、積極的に情報提供を行っていく。</li> </ul>		
目標項目	平成29年度		
	目標値	実 績	目標対比
施設内研修の開催回数	6回	7回	委員会が主体となり、外部講師を含めた研修会を計7回実施し達成

施設内研修への職員参加率	100%	100%	職員のシフトに併せ、回数を分けて開催。参加できなかった職員には個別に指導することで全員参加となった。
職員の資格取得率(専門職員数に対する介護支援専門員・介護福祉士の取得割合)	60%	54%	特養では介護福祉士2名合格したものの取得率54%と未達成となる。GHでは介護福祉士4名が合格。

課 題	会議、委員会の活性化と職員間の連携強化		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種委員会については、今まで毎月初のリーダー会議と併せて開催していたが、今後は内容の充実化と効率化を図るため、各種委員会の開催は毎月末週に開催し、翌月のリーダー会議で内容報告と意見集約を行うこととする。その後、職員会議で議事録等資料を各部署及びユニットに配布するとともに、申し送りでも徹底し浸透させる。</li> <li>事前の資料作成と配布により、会議時間を短縮し、業務に支障を来たさぬよう、効率的に実施する。</li> <li>会議、委員会開催開始時間の徹底と終了時間を明確にする。</li> <li>職員間の連携強化については、部署毎、ユニット会議を定期的に行い情報の共有化を図る。</li> </ul>		
目標項目	平成29年度		
	目標値	実績	目標対比
部署毎、ユニット会議の開催回数	毎月1回以上	3か月(平均)	ユニット毎で開催回数が不定期であったため未達成。

課 題	権利擁護の推進		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束廃止、虐待防止について、委員会の活性化を図り、個々のケア場面について検証し、虐待防止と利用者の人権や安全に配慮したケアの改善に取り組む。</li> <li>権利擁護及び高齢者虐待防止等について研修会を通じ、職員一人ひとりが関心を持ち、正しい知識を身に付けることで、尊厳の保持及び利用者本位のケアに向けて介護力、看護力を高める。</li> <li>成年後見制度の家族等への理解を深める取組みを行う。</li> </ul>		
目標項目	平成29年度		
	目標値	実績	目標対比
身体拘束廃止・虐待防止に向けた研修実施	1回	2回	安全委員会委員が講師となり本テーマにて施設内研修を実施。 (シフトの関係で6回に分けて開催)

権利擁護研修への派遣	2名	1名	権利擁護に関する外部研修に介護職員1名が受講。
------------	----	----	-------------------------

課 題	情報開示・情報提供の充実		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報「さくらぎだより」については、利用者家族等の知りたい情報が発信できるよう、掲載内容を充実させる。</li> <li>・施設選定の参考となるべく、ホームページの掲載内容を検討・精査し、定期的な更新を行う。</li> <li>・施設パンフレットについても、居宅介護支援事業所と併せて、見やすく・わかりやすく・選定につながるパンフレットにリニューアルするよう検討し、早期に実施する。</li> </ul>		
目標項目	平成29年度		
	目標値	実績	前期比
「さくらぎだより」の定期発行	年6回	年3回	期初に年6回の発行日を決定したものの、3回の発行に留まり、目標未達。
ホームページの充実	年4回の定期見直し	法人の情報公開、求人情報、行事等開催の都度更新し、充実を図った。	HPのリニューアル以降大幅に内容を充実が図られた。また、施設行事や法人の概要のみならず、求職者に対する情報発信とアピール強化にもつながった。

課 題	感染症対策の充実及び徹底		
取組方針	・感染委員会が主体となり、関連マニュアルの見直しと周知を行い、感染症予防対策や緊急時への備えを講ずる。		
目標項目	平成29年度		
	目標値	実績	目標対比
感染症予防マニュアルの見直し	随時	一部内容見直し再作成済。	目標達成。今後も随時見直しを図る。
感染症予防研修の実施	6回	施設内研修でマニュアルに沿って実施。その後汚物処理方法等実演を一週間実施により目標達成。	研修と各部署に備え付けし全職員に周知徹底。目標達成。

課 題	計画的な修繕		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕整備する必要がある設備機器等について調査の上、整理し優先順位をつけ、計画的な修繕を行う。</li> <li>・設備機器の正しい使用方法を再確認し、異常の早期発見と報告を徹底するため、取扱マニュアルと修繕管理簿を作成する。</li> <li>・利用者の行為、又は職員の誤操作等による突発的な修繕については、発生要因の検証と再発防止の検討を徹底し、突発的修繕を抑制する。</li> </ul>		
目標項目	平成29年度		
	目標値	実績	目標対比
設備機器の正しい使用方法の再確認、異常の早期発見と報告の徹底。	取扱いマニュアルの作成と周知徹底	故障発生報告は都度伺書により報告。取扱いマニュアルは一部作成するに至った。	目標未達。管理簿については今後の管理方法等も併せ修繕計画書と共に再検討予定。
突発的修繕の抑制 (上記理由による修繕費、現状約100万円)	修繕計画表の作成 現状より 10%削減	前期計画策定済み。 平成29年度の修繕費総額2,796千円。 (別紙2修繕費その他のとおり)	経年劣化による修繕が予想される設備機器は計画立てたものの、エアコン設備等予想を上回る故障等増加し目標対比279%と未達成となった。

課 題	諸規程の遵守		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人職員研修では、先ず就業規則等身近なところから始め、一度きりの説明とせず、その後は既存の職員と同様に、職員会議やスポット研修により、項目を絞って説明し、全職員が理解できるようにする。</li> <li>・諸規程等の内容については、制度改正に伴う見直し改正の他、施設の実情と現状に沿った内容に随時見直ししていくこととする。</li> </ul>		
目標項目	平成29年度		
	目標値	実績	目標対比
新人職員研修での説明実施	年1回	新人職員には入社時に就業規則を始め諸規程関係について説明し徹底。	目標達成。就業規則及び諸規程については改正の都度、説明会を実施していく。

職員会議又はスポット研修での説明	年2回	6月の会議にて全職員に対し決算及び事業報告を行った際に併せて就業規則と諸規程について改めて説明。	同上。
------------------	-----	--	-----

課 題	利用者の安全管理の徹底		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防、急変時のマニュアルを見直しの上、再作成し、感染予防、事故対策に努める。</li> <li>・協力病院や他職種と連携を図り、利用者の状態を把握し、体調不良を早期発見し、迅速な対応を行い、重症化を防止する。</li> <li>・職員へ施設内研修等により、医学的知識を提供し、利用者の体調不良等の異常について早期に発見する。</li> <li>・「医療的ケア」に参加することで、介護職員が技術・知識を習得し、利用者の安全を確保する。</li> <li>・利用者家族と情報を共有・提供し、利用者の健康を維持し信頼関係を構築する。</li> </ul>		
目標項目	平成29年度		
	目標値	実 績	目標対比
施設内研修の実施・マニュアルの作成	内容の見直し・作成	安全委員会にてマニュアルを再作成し施設内研修で全職員に徹底。	目標達成。今後も内容について随時見直し充実を図る。
「医療的ケア」研修の参加	職員参加	29年度は4名の介護員を受講させ資格を取得 (内1名退職)	目標達成。今後も質の向上目指し積極的に介護員を受講させていく。

課 題	快適な食生活を送れるよう支援する
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養並びに心身の状況を考慮した栄養マネジメントの実施。</li> <li>・栄養ケア計画に基づき、栄養面、嗜好面、季節感を考慮したメニューを作成する。また、日々可能な限りユニットを回り、利用者より食事に対する意見を聴取の上、記録し改善につなげる。</li> <li>・食事摂取基準改正後の食塩量に抑制するため、盛付器具の統一と献立の見直し、盛付等によるバラつきをなくする。</li> <li>・刻み食、ゼリー食については、利用者の意見の他、介護職員の意見も取り込みながら盛付等を工夫する。(行事食や楽しみとしての取組みについても同様に実施)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食中毒や感染症予防については、職員の意識レベルを向上させるため、日常的な注意喚起と衛生管理を徹底。</li> <li>・栄養ケア計画含む利用者情報及び報告について、組織配置に則って改めてルール作りし情報共有化を徹底する。</li> </ul>		
目標項目	平成29年度		
	目標値	実績	目標対比
食事の減塩対策（1日あたり7g未満）	献立の見直し・検討	前期に続き、減塩対策継続、また献立も見直し、1日あたり7g未満に抑えることが出来た。	目標達成。今後も維持管理を徹底。
情報共有・記録簿に関するルール作り	記録簿の見直し・実施	カンファレンスと申し送りにて情報共有することをルール化し、前期に続き記録簿についても再度見直しを図った。	目標達成。今後も各部署との連携強化し情報の共有化を図る。

課題	施設利用者の身体機能低下予防と介護予防活動の活発化		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別実施計画に基づいた機能訓練の実施と定期的な評価と見直し</li> <li>・カンファレンスや実施プラン等利用者情報及び報告について、組織配置に則って改めてルール作りし情報共有化を徹底する。</li> <li>・他職種の協力を得ることで介護予防活動の強化を図る。（季節を感じる行事、さくらぎコーラス、園芸活動、外出活動等）定期的な評価と見直しを実施。</li> <li>・現状の機能訓練実施体制を見直すことで、利用者満足度の高い機能訓練、介護予防活動を提供していく。</li> </ul>		
目標項目	平成29年度		
	目標値	実績	目標対比
<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能訓練実施プラン</li> <li>・介護予防活動</li> </ul>	定期的な評価と見直し実施 3か月毎	期初に機能訓練実施計画と介護予防活動計画に分別し策定。評価は3か月毎に実施。	評価及び見直しの実施により目標達成。今後も随時見直し検討予定。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能訓練実施プラン</li> <li>・介護予防活動</li> </ul>	実施・参加回数 1か月 2回以上	機能訓練実施については個別に定期的実施、介護予防活動は全体またはグループで平均5回以上実施。	個別訓練については、工夫し実施回数を増やした。介護予防活動は利用者のニーズも把握の上実施し目標達成。

課 題	利用稼働率の維持・向上				
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムラグの少ない施設入所を行うため、入所判定委員会で入所順位を決定しているが、入所の段階で断られるケースもあるため、申込待機者リストの更新を常に行い、待機者の動向調査を行う等管理を更に強化する。</li> <li>・感染症対策と事故防止の徹底、特に冬場のインフルエンザ等感染症は、利用稼働率に大きく影響するため、引続き職員に対する予防接種や感染予防対策に関する知識の周知に取り組む。</li> <li>・長期入院者については、家族・協力病院と連携し、空床期間をできる限り短縮する。また、入院中の空床ベッドを有効利用し、短期入所の利用率アップにつなげる。</li> <li>・生活相談員と居宅介護事業所との連携を密にし、空床を埋めるとともに継続利用につなげる。</li> </ul>				
指 標 (稼働率)	平成 27 年度 実 績	平成 28 年度 実 績	平成 29 年度		
			目標値	実 績	前期比
施設入所	100%	100%	100%	98.6%	29年度は入院による退所者が増加し、新たな利用者の入所までのタイムラグがあったことから稼働率減少し未達成となった。

(2) 短期入所生活介護事業所計画  
(利用稼働率の向上)

指 標 (稼働率)	平成 27 年度 実 績	平成 28 年度 実 績	平成 29 年度		
			目標値	実 績	前期比
短期入所	72.5%	66.7%	95%	80.8%	目標未達ではあったが、期初から各事業所及び病院等への利用促進強化を図ったことにより、前期を大幅に上回る実績となった。

## 〈さくらぎの里居宅介護支援事業所〉

### 〈実施報告〉

1. 利用者や家族からの相談に対し、訪問、電話、来所等、様々な方法により対応を図った。  
利用者や家族の依頼により、要介護認定申請手続き業務を代行する等、利用者の便宜を図った。利用者や家族に対し、適切な意思決定ができるよう介護保険及び、各サービス事業所や医療機関に関する情報提供に努めた。
2. 認知症高齢者への支援のため、地域での研修へ参加し、専門知識の習熟に努めるとともに利用者・家族・医療機関・サービス事業所との連携を密にし、利用者本人に最も適切なサービスの提供を行い、継続的に支援を行った。
3. 十分なアセスメントを行い、利用者と家族の意向に基づいたケアプラン作成を行いながら、生活における問題点の改善が図れたかどうかのモニタリングを行った。
4. 利用者数減少の挽回策として、地域包括支援センター及び在宅介護支援センターの他、開業医等への訪問、居宅支援事業所のパンフレットや広報を地域や事業所等へ配布する等新規先確保の強化に努め、介護予防8件の実績等新規先の確保につながった。
5. 中期経営計画の「問題解決に向けた取組み」に対する実績及び評価

### 〈利用稼働率の向上〉

指 標 (稼働率)	平成 27 年度 実 績	平成 28 年 度 実 績	平成 2 9 年度		
			目標値	実 績	前期比
居宅介護計 画作成件数 (平 均)	24件	24.8件	35件	24.6件	再入所による新規件数が多かったため、特養への移行による解約、また死亡等による解約件数増加し前期とほぼ横ばいとなり、未達となった。今後も引き続き地域包括センターや各事業所・開業医等との連携強化し新規先契約件数確保に注力するとともに未利用者への利用促進を図っていくこととする。

## 〈グループホームさくらぎ〉

### 1. 事業活動内容の総評

平成29年度は通年での稼働となり、入所者の入院による退所もあったが、ほぼ満床での稼働状況であった。

入居者については、本人の自己決定を尊重し支援することを心掛け、食事や趣味、外出等、本人の希望に寄り添う介護を行った。排泄の自立支援、認知症の進行防止等、在宅生活からの継続性を重視した個別サービスを提供した。

医療面では、協力病院と協力歯科医院と契約し医療連携を保持することで緊急時のスピーディーな対応が図られた。また、看護師のシフト体制を見直し、入居者の健康管理が良好に保たれるよう配慮した。

入居者のみならず職員の交流として、地域の季節行事への積極参加により、グループホームへの理解を深め、地元に着目した活動に注力した。

平成30年度は、サービスの質の向上を高めるため、引き続き職員の自己啓発の促進と外部研修への職員参加及び内部研修の定着を図ることで知識面、技術面のレベルアップを目指し、積極的に入居者への支援を図り、入居者満足度を高める援助を職員全員で提供できるよう努めて参りたい。

※平成29年度の活動内容等の詳細は次のとおりである。

### 2. 入居者の身体状況等（平成30年3月31日現在）

	平均介護度	平均年齢	最高年齢	最少年齢
男 性	要介護 2.4	85.6	91	79
女 性	要介護 1.9	85.5	91	80
全 体	要介護 2	81.2	91	79

### 3. 日常生活

#### (1) 援助方針

入居者本位の観点から、プライバシーや人権の尊重と本人の希望を実現するための援助するため、職員は制止や言葉の拘束を行わず、入居者の体調に注意した上で、外出を定期的実施し気分転換を図った。

#### (2) 自己判断

入居者が極力自立した生活を送れるよう支援するため、入居者自身が考えて判断する場面を作り、意識して声掛けを行った。

#### (3) 地域・家族交流

地域交流を図るため、町内会行事に積極的に参加し、またグループホームでの単独行事のほかに特養さくらぎの里の行事への合同参加により、家族間との交流を深めた。

(4) 感染症対策

感染症防止対策については、職員及び入居者の手洗い・うがいを徹底。職員マスク着用の徹底と季節性インフルエンザ予防注射を実施した。

(5) 食事

食事の提供時間		摂取状況		食事形態状況	
配膳時間		全面介助	0人	普通食	18人
朝食	7:15	半介助	0人	刻み食	0人
昼食	12:00	ほぼ自立	18人	ミキサー食	0人
夕食	18:00	自助具使用	0人		
※残食調査の実施状況 … 毎食実施					
※メニューは、特養の管理栄養士と連携し、バランスの取れた食事作りを行い、季節にあった食事や行事食を定期的に提供。					

(6) 入浴・排泄・移動

入浴の実施状況		おむつの使用等の状況		機器等の使用状況		
入浴回数	週2回以上	紙おむつ使用者	0人	機器名	施設内	
一般浴		リハビリパンツ使用者	11人	車椅子	操作自立	1人
対象者数	18人	(全員パット併用)			操作介助	1人
内	ほぼ自立 4人	尿取りパットのみ使用者	1人		操作見守	(1)人
	半介助 14人	未使用者	6人	歩行器		1人
	全介助 0人	※日中、夜間共に随時確認の上、交換している。		杖		1人
入浴日	1・2階共に1日			独歩・ほぼ自立		13人
	2～3人を入浴			介助歩行		2人

(7) 行事の実施状況

開催日	行事名	開催場所	参加者数
29.4.12	臨床美術	グループホームさくらぎ	10名
29.4.13	ぼたん誕生会	グループホームさくらぎ	10名
29.4.16	町内資源回収	高松老人憩いの家	3名
29.4.21	ぼたんお花見	高松の池	6名
29.4.24	つばきお花見	高松の池	4名
29.4.25	つばきお花見	高松公園	3名
29.5.10	臨床美術	グループホームさくらぎ	11名
29.5.23	うたの会	グループホームさくらぎ	15名
29.5.29	脳ストレッチング講座	高松老人憩いの家	5名
29.6.2	ちゃぐちゃぐ馬っこ慰問	さくらぎの里(合同)	8名
29.6.11	町内資源回収	高松老人憩いの家	2名
29.6.14	臨床美術	グループホームさくらぎ	10名

29.6.24	つばき家族交流会	グループホームさくらぎ	16名
29.7.12	臨床美術	グループホームさくらぎ	11名
29.7.14	避難訓練	グループホームさくらぎ	14名
29.7.18	うたの会	グループホームさくらぎ	15名
29.7.22	夏祭り	さくらぎの里 (合同)	17名
29.8.3	高松保育園慰問	グループホームさくらぎ	18名
29.8.6	高松老人憩いの家夏祭り	高松老人憩いの家	6名
29.8.9	臨床美術	グループホームさくらぎ	12名
29.8.20	町内資源回収	高松老人憩いの家	2名
29.8.25	映画会	さくらぎの里 (合同)	2名
29.9.9	敬老会	さくらぎの里 (合同)	16名
29.9.12	うたの会	グループホームさくらぎ	12名
29.9.13	臨床美術	グループホームさくらぎ	11名
29.10.3	ミニ運動会	グループホームさくらぎ	11名
29.10.11	臨床美術	グループホームさくらぎ	12名
29.10.12	つばき おにぎりの会	グループホームさくらぎ	9名
29.10.13	お月見	グループホームさくらぎ	9名
29.10.16	お茶会	グループホームさくらぎ	12名
29.10.17	つばき誕生会	グループホームさくらぎ	9名
29.10.29	ケアガーデン高松公園 展示作品見学	ケアガーデン高松公園	4名
29.11.4	ぼたん家族交流会	グループホームさくらぎ	14名
29.11.9	うたの会	グループホームさくらぎ	16名
29.11.11	介護フェア	さくらぎの里 (合同)	6名
29.11.14	臨床美術	グループホームさくらぎ	12名
29.11.15	高松老人憩いの家 マッサージ教室	高松老人憩いの家	6名
29.11.25	北の街の懐メロ合奏団	さくらぎの里 (合同)	6名
29.12.13	臨床美術	グループホームさくらぎ	12名
29.12.16	クリスマス会	グループホームさくらぎ	18名
29.12.18	つばき おにぎりの会	グループホームさくらぎ	9名
29.12.22	お茶会	高松老人憩いの家	10名
29.12.25	ぼたん 誕生会	グループホームさくらぎ	9名
29.12.26	紅白歌合戦	グループホームさくらぎ	15名
29.12.27	絵本の読み聞かせ	グループホームさくらぎ	12名
30.1.1	書き初め	グループホームさくらぎ	18名
30.1.10	臨床美術	グループホームさくらぎ	11名
30.1.15	ミズキ団子作り	グループホームさくらぎ	18名
30.1.16	つばき誕生会	グループホームさくらぎ	8名
30.1.18	うたの会	グループホームさくらぎ	15名

30.1.19	避難訓練	グループホームさくらぎ	12名
30.1.20	鏡開き・お菓子作り	グループホームさくらぎ	18名
30.2.3	節分・豆まき	グループホームさくらぎ	18名
30.2.4	つばき たこやき作り	グループホームさくらぎ	3名
30.2.14	臨床美術	グループホームさくらぎ	11名
30.2.20	大至伸行様慰問	グループホームさくらぎ	18名
30.3.3	ひな祭り会	グループホームさくらぎ	18名
30.3.14	臨床美術	グループホームさくらぎ	12名
30.3.29	うたの会	グループホームさくらぎ	16名

#### 4. 事故・ヒヤリハット状況について

平成29年度は、報告分析結果として、認知症の利用者が多く幻視があり、また歩行が安定しないことが要因となる転倒が多く、また居室内での立ち上がりの際の転倒も多かった。

平成30年度は、職員の配置体制の見直しによる見守り強化やリビング及び居室のレイアウトの変更等によるケガ防止策を図る。また、ケアの不適切による事故、繰返し起こる内容等、職員会議で防止策を検討するとともに、施設全体で事故予防に向けたリスクマネジメント、職員の育成に取組み、再発防止に努めていくこととする。

※事故・ヒヤリハット発生件数状況は、【別紙5】のとおり

#### 5. 研修受講状況

(外部研修)

日時	主催	テーマ	職種	参加者
29.5.24	盛岡市保健福祉部介護保険課	盛岡市高齢者保健福祉関係行政説明会及び介護保険施設等集団指導	グループホームさくらぎ 介護支援専門員	瀧澤愛華
29.6.7	岩手県認知症グループホーム協会 第一ブロック	盛岡第一ブロック定期総会	グループホームさくらぎ 管理者	小林日和
29.6.23	岩手県福祉サービス運営適正化委員会	平成29年度福祉サービスの苦情を考えるセミナー	グループホームさくらぎ 管理者	小林日和
29.7.24	岩手県認知症高齢者グループホーム協会	平成29年度合同研修会	グループホームさくらぎ 介護支援専門員	瀧澤愛華
29.8.10	一般社団法人 岩手介護コミュニティ協会	認知症ケアから紐解く介護従事者の心構え	グループホームさくらぎ 介護員	片野由希 藤原 陸

29.8.21 ~ 29.8.25	公益財団いきいき岩手支 援財団	平成29年度岩手県認知症 介護実践者研修	グループホームさ くらぎ 介護員	嶋野有紘
29.9.29	社会福祉法人岩手県社会 福祉協議会高齢者福祉協 会	2018年診療報酬・介護報酬の 同時改定及びIOTの現場 導入と活用に関するセミナー	グループホームさ くらぎ 管理者	小林日和
29.10.10	NPO法人いわての保健 福祉支援研究会	平成29年度感染症及び食 中毒予防対策研修会	グループホームさ くらぎ 看護師	山崎奈美
29.11.28	社会福祉法人岩手県社会 福祉事業団	メンタルヘルス研修	グループホームさ くらぎ ユニットリーダー	松澤祥司
29.12.7.8 12.21.22	公益社団法人日本介護福 祉士会	平成29年度介護福祉士養 成実習施設実習指導者特別 研修会	グループホームさ くらぎ ユニットリーダー	松澤祥司
29.11.17	岩手県認知症高齢者グル ープホーム協会	第12回実践報告会	グループホームさ くらぎ 介護支援専門員	瀧澤愛華
29.12.21	公益財団いきいき岩手支 援財団	平成29年度岩手県認知症 基礎研修	グループホームさ くらぎ 介護員	千葉佳子
29.2.8	いわて高齢者ケア研究グ ループ	高齢者ケアに関わる専門職 のための研修会	グループホームさ くらぎ 介護員	押切幸子
29.2.16	盛岡駅西口包括支援セン ター	平成29年度第2回地域ケ アマネジメント会議	グループホームさ くらぎ 介護支援専門員	瀧澤愛華
29.3.29	岩手県介護支援専門員協 会	平成30年度介護報酬改定 に係る研修会	グループホームさ くらぎ 介護支援専門員	瀧澤愛華

〈内部研修〉

日時	テーマ	内部講師	参加者
29.8.7	バイタルサインの測り方・介護記録について	山崎奈美(看護師) 瀧澤愛華(介護支 援専門員)	6名
29.12.6 ~12.20	感染症による基本知識 吐物処理と手洗い手順の実施	山崎奈美 (看護師)	16名
30.1.24 1.30	救急法について	さくらぎの里 看護主任	12名

6. 運営推進会議の開催状況

日時	回数	出席者	記録 (議事録) の有無	会議の主な内容
29.4.17	第1回	GH施設長、GH管理者、GHケアマネ、高松3丁目町内会長、民生委員、盛岡西口地域包括センター職員、利用者、利用者家族の計8名	有	GH活動報告 事業実施内容 今後の活動予定 各委員の意見集約等
29.6.19	第2回	GH施設長、GH管理者、GHケアマネ、高松3丁目町内会長、盛岡市職員、民生委員、盛岡西口地域包括センター職員、利用者、利用者家族の計9名	有	GH活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員の意見集約等
29.8.21	第3回	GH管理者、GHケアマネ、高松3丁目町内会長、盛岡市職員、民生委員、盛岡西口地域包括センター職員、利用者、利用者家族の計8名	有	GH活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員の意見集約等
29.10.23	第4回	GH施設長、GH管理者、GHケアマネ、民生委員、盛岡西口地域包括センター職員、利用者、利用者家族の計7名	有	GH活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員の意見集約等
29.12.18	第5回	GH管理者、GHケアマネ、高松3丁目町内会長、民生委員、盛岡西口地域包括センター職員、利用者、利用者家族の計7名	有	GH活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員の意見集約等
30.2.20	第6回	GH施設長、GH管理者、GHケアマネ、高松3丁目町内会長、盛岡西口地域包括センター職員、利用者家族の計6名	有	GH活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員の意見集約等

## 7. 防災の取り組み

### <防災訓練実施状況>

7月14日	総合訓練（日中想定） 初期消火・通報・避難誘導 消火訓練（水消火器）	入居者 14人 職員 9人 協力者 0人
1月19日	総合訓練（夜間想定） 初期消火・通報・避難誘導・消火訓練	入居者 10人 職員 2人 協力者 0人

## 8. 外部評価受審について

外部評価受審については、平成29年6月30日に評価実施機関である特定非営利法人いわての保健福祉支援研究会による評価実施を受審し指摘事項特になく、評価内容も良好であった。

社会福祉法人 河北会

平成29年度事業報告付属明細書  
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

特別養護老人ホームさくらぎの里

さくらぎの里短期入所生活介護事業所

さくらぎの里居宅介護支援事業所

グループホームさくらぎ

【別 紙 1 - ①】

利用者状況

(平成29年4月1日～平成30年3月31日 稼働日数365日)

(1) 入所 (特別養護老人ホーム さくらぎの里) 定員50名

各 項 目		平成28年度(A)	平成29年度(B)	年度対比(B-A)
①	年間平均利用者数	50.0人	49.3人	▲0.7人
②	年間延利用者数	18,246人	17,994人	▲252人
③	新規入所者数	17人	24人	+7人
④	退所者数	21人	24人	+3人
年間平均利用率 (%)		100.0%	98.6%	▲1.4%
男	男性			
	① 年間平均利用者数	4.6人	5.1人	+0.5人
女	② 年間延利用者数	1,676人	1,862人	+186人
	③ 新規入所者数	1人	4人	+3人
割	④ 退所者数	2人	3人	+1人
	女性			
合	① 年間平均利用者数	45.4人	44.2人	▲1.2人
	② 年間延利用者数	16,570人	16,132人	▲438人
	③ 新規入所者数	16人	20人	+4人
	④ 退所者数	19人	21人	+2人

(2) 短期入所 (さくらぎの里短期入所生活介護事業所) 定員12名

各 項 目		平成28年度(A)	平成29年度(B)	年度対比(B-A)
①	年間平均利用者数	8.0人	9.7人	+1.7人
②	年間延利用者数	2,916人	3,544人	+628人
③	新規入所者数	198人	160人	▲38人
④	退所者数	197人	119人	▲78人
年間平均利用率 (%)		66.7%	80.8%	+14.1%
男	男性			
	① 年間平均利用者数	2.0人	2.6人	+0.6人
女	② 年間延利用者数	743人	933人	+190人
	③ 新規入所者数	59人	41人	▲18人
割	④ 退所者数	57人	42人	▲15人
	女性			
合	① 年間平均利用者数	6.0人	7.2人	+1.2人
	② 年間延利用者数	2,173人	2,611人	+438人
	③ 新規入所者数	139人	119人	▲20人
	④ 退所者数	140人	118人	▲22人

(3) 居宅事業所 (さくらぎの里居宅介護支援事業所)

各 項 目	平成28年度(A)	平成29年度(B)	年度対比(B-A)
請求実数 (月平均請求実数)	298件 (24.8件)	296件 (24.6件)	▲2件 (▲0.2件)
居宅介護支援費	3,517,809円	3,592,210円	+74,401円
居宅予防支援費	30,960円	200,817円	+169,857円

(4) 認知症対応型共同生活介護（グループホームさくらぎ）定員18名

各項目		平成28年度 平成28年7月開所 稼働期間9か月	平成29年度(B)	年度対比(B-A)
① 年間平均利用者数		15.5人	17.9人	+2.4人
② 年間延利用者数		4,242人	6,543人	+2,301人
③ 新規入所者数		18人	6人	▲12人
④ 退所者数		0人	7人	+7人
年間平均利用率 (%)		86.1%	99.4%	+13.3%
男	男性			
	① 年間平均利用者数	5.4人	5.9人	+0.5人
	② 年間延利用者数	1,474人	2,155人	+681人
	③ 新規入所者数	6人	1人	▲5人
女	女性			
	① 年間平均利用者数	10.1人	12.0人	+1.9人
	② 年間延利用者数	2,768	4,388人	+1,620人
	③ 新規入所者数	12人	5人	▲7人
合	女性			
	① 年間平均利用者数	10.1人	12.0人	+1.9人
	② 年間延利用者数	2,768	4,388人	+1,620人
	③ 新規入所者数	12人	5人	▲7人
④ 退所者数		0人	5人	+5人

### 個別指標診断結果

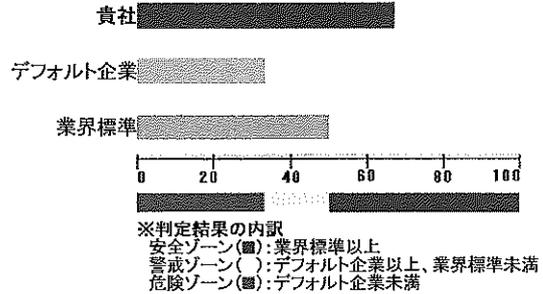
指標の意味 ▲:指標値が高い程よい ▼:指標値が低い程よい

診断項目	指標名	貴社の得点	指標の意味	指標値	業界基準値	
					中央値	上位30%値
収益性	売上高総利益率	10.24 %	▲	10.24 %	98.66 %	100.00 %
	売上高営業利益率	10.24 %	▲	10.24 %	1.23 %	4.78 %
	売上高経常利益率	9.54 %	▲	9.54 %	1.80 %	5.20 %
	総資本営業利益率	3.61 %	▲	3.61 %	1.50 %	5.40 %
	総資本経常利益率	3.27 %	▲	3.27 %	1.80 %	6.40 %
	総資本償却前経常利益率	7.25 %	▲	7.25 %	6.38 %	11.84 %
	インダレスト・カバレッジレシオ	11.45 倍	▲	11.45 倍	1.30 倍	5.90 倍
効率性	債務償還年数	2.82 年	▼	2.82 年	6.40 年	3.10 年
	総資本回転率	0.34 回	▼	0.34 回	1.47 回	2.40 回
	売上債権回転日数	56.93 日	▼	56.93 日	48.90 日	13.20 日
生産性	棚卸資産回転日数	0.91 日	▼	0.91 日	0.00 日	0.00 日
	一人当り売上高	5,017 千円	▲	5,017 千円	5,537 千円	8,178 千円
	一人当り有形固定資産額	9,004 千円	▲	9,004 千円	1,856 千円	5,348 千円
安全性	一人当り経常利益	478 千円	▲	478 千円	90 千円	306 千円
	自己資本比率	72.61 %	▲	72.61 %	10.45 %	30.99 %
	流動比率	381.21 %	▲	381.21 %	211.09 %	357.92 %
	当座比率	379.83 %	▲	379.83 %	159.89 %	287.91 %
	固定長期適合率	81.20 %	▼	81.20 %	73.50 %	44.80 %
	減価償却率	6.95 %	▲	6.95 %	10.38 %	20.10 %
	手元現金預金比率	53.86 %	▲	53.86 %	9.51 %	15.61 %
	借入金月商倍率	7.40 ヶ月	▼	7.40 ヶ月	5.52 ヶ月	2.87 ヶ月
	借入金依存度	21.12 %	▼	21.12 %	71.17 %	48.03 %
	預借率	87.37 %	▼	87.37 %	18.79 %	41.37 %
成長性	売上高支払利息割引料率	0.91 %	▲	0.91 %	0.59 %	0.24 %
	前年比増収率	9.46 %	▲	9.46 %	5.37 %	17.58 %
	総資本回転率増減	0.03 回	▲	0.03 回	0.03 回	0.16 回
	自己資本比率増減	2.49 %	▲	2.49 %	1.16 %	5.19 %

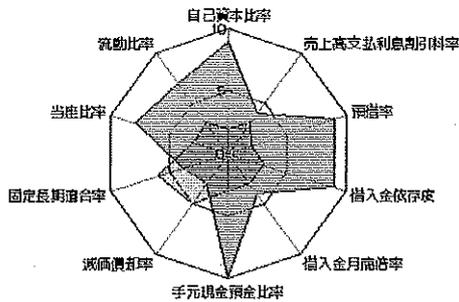
※5点が業界標準です。

### 資金繰診断結果

財務指標名	貴社		デフォルト企業		業界標準
	得点	指標値	得点	中央値	中央値
自己資本比率	9	72.61 %	2	-12.10 %	10.45 %
流動比率	7	381.21 %	3	125.53 %	211.09 %
当座比率	8	379.83 %	3	77.42 %	159.89 %
固定長期適合率	4	81.20 %	6	67.70 %	73.50 %
減価償却率	3	6.95 %	5	9.44 %	10.38 %
手元現金預金比率	10	53.86 %	3	5.02 %	9.51 %
借入金月商倍率	4	7.40 ヶ月	3	9.48 ヶ月	5.52 ヶ月
借入金依存度	9	21.12 %	3	93.86 %	71.17 %
預借率	9	87.37 %	2	5.74 %	18.79 %
売上高支払利息割引料率	4	0.91 %	3	1.28 %	0.59 %



デフォルト企業との比較結果



■ 貴社 □ デフォルト企業

貴社の合計点	67
デフォルト企業の合計点	33
業界標準の合計点	50

判定結果 **安全ゾーン**

## 【別紙2】

## 平成29年度施設整備状況一覧表

## ＜新規購入・更新＞

(特別養護老人ホームさくらぎの里)

年月日	内容	支出額(円)
平成29年4月3日	PHS代替購入(12台)	432,000
4月3日	業務用パソコン代替購入(11台)	1,098,900
4月5日	ユニット(からたち)リビング用テレビ代替購入	88,668
4月13日	業務用食器洗浄機の代替購入	907,200
4月20日	厨房鍋(4個)・マグカップ(30個)・フードカバー(15個)・ミキサーコンテナ(1個)	55,350
5月11日	ワイズマンIDCクライアント設定(2台)	29,808
5月26日	会議用ICレコーダー代替購入	10,000
6月19日	正面玄関設置用ファイルワゴン購入	11,304
6月28日	施設カメラ及びビデオカメラバッテリー購入	16,308
7月28日	居室・ユニットリビング用LEDシーリングライト購入(10台)	70,200
8月3日	回転式L字介助バー(4本)	32,800
8月17日	3階ホール・コピー室用蛍光管購入(10セット)	19,440
8月31日	業務用スチームクリーナー購入	23,652
9月7日	ユニット用食器洗浄機(からたち・さざんか・ひいらぎ)3台購入	248,832
9月8日	PHS代替購入(2台)	86,400
9月19日	電子体温計2台(からたち・やまぼうし)、電子血圧計2台(医務・からたち)	13,543
10月31日	利用車用食器(麵鉢)20個購入	13,500
11月14日	機械浴ストレッチャーマット2台分購入	34,020
11月23日	施設車両スタッドレスタイヤ(GH送迎用アトレ)	21,780
12月6日	さざんかユニット前汚物用洗濯機代替購入	28,836
12月11日	施設業務用掃除機代替購入	46,440
平成30年1月9日	2階洗濯室内汚物用洗濯機1台購入	29,268
1月10日	栄養課PC増設に伴う無線LANルータの設置	64,476
1月12日	ユニット業務用掃除機代替1台購入(こでまり)	19,224
1月23日	センサーマット分器ボックス代替購入	11,232
1月30日	救護用担架2台購入	42,768
1月30日	利用者用ベッドリモコンフック20個購入	11,880
2月7日	救護用担架用収納ボックス2台購入	20,520
2月9日	来客用車椅子1台購入	12,500
	合計	3,500,849

(グループホームさくらぎ)

平成29年12月15日	ユニットリビング用ブルーレイレコーダー2台購入	67,608
	合計	67,608

<修繕その他>

(特別養護老人ホームさくらぎの里)

平成29年4月19日	厨房室内床修繕工事	32,400
4月21日	2階洗濯室出入口ドアの修繕工事	14,040
4月24日	GHP室外機コンプレッサー交換(こでまり・医務室系統)	788,400
5月9日	機械浴室シャワー修繕工事	35,500
5月12日	3階地域交流センター内車椅子用トイレ出入り口扉修繕工事	37,260
5月16日	正面玄関男子トイレ・ユニット(さざんか)車椅子用トイレ便座修繕工事	23,760
5月16日	機械浴リクライニングキャスター部品交換及び安全ベルトの発注	156,600
6月5日	3階ポータブルステージ用ゴム交換	21,600
6月8日	居室等(さざんか303・ひいらぎ108・ゆまぼうしベランダ)網戸の修繕	21,600
7月3日	施設車両修理費用(保険対象外)	20,196
7月4日	エレベーターかごドアエアコード交換工事	25,920
7月4日	ホームセキュリティシステム更新	57,925
7月10日	GHP室外機エンジンヘッドボルト・ファンモーター・プロペラファン交換(からたち系統)	172,800
7月24日	GHPエアフィルター交換(厨房)	45,792
8月18日	ユニット(からたち)台所水道レバー修繕工事	22,680
8月23日	厨房ミキサーコンテナ交換	12,960
9月19日	非常灯設備2台交換	64,800
9月27日	厨房出入口ドア(エレベーターフロア側)修繕工事	86,400
10月18日	機械浴シャワーヘッド2個交換	11,556
10月26日	2階汚物室水栓修繕工事	25,920
10月26日	センサーマット分器ボックス修理	11,232
11月6日	機械浴ストレッチャー背部フレーム修理	22,680
11月13日	やまぼうし居室ナースコール設備コンセント増設工事	86,400
12月4日	GHPエアフィルター交換(厨房)	20,520
12月6日	医務室洗面台混合栓修繕工事	36,720
12月20日	エレベーターリレー及びバッテリー交換修繕工事	183,600
平成30年1月4日	自動火災報知機及び通報装置、誘導灯連動工事	108,000
1月7日	厨房室内食器消毒保管庫扉の修繕工事	85,255
1月15日	GHP室外機モーターバルブ及びサーモスタット部品交換工事	22,572
1月16日	2階西側及び東側男子トイレ小便器修繕工事	32,400
1月22日	GHP室外機サーモスタット部品交換工事(さざんか)	16,200
1月24日	厨房内バーナー五徳交換	107,287
1月30日	1階汚物室(こでまり横)水栓レバー修繕工事	25,920
1月30日	厨房内ガスコンロ油受け交換	91,951
2月14日	施設用リクライニング車椅子の車輪交換(4台分)	25,920
3月13日	GHP室外機リモコンサーモ設定調整(やまぼうし)	9,990
3月20日	厨房室内手洗器自動水栓修繕工事	34,560
3月26日	除雪機タイヤパンク修理(前輪2本)	22,334
3月27日	GHP冷媒補充及び修理(ひいらぎ系統)	151,200
3月30日	機械浴ストレッチャー背部ブロック部品交換	23,436
	合計	2,796,286

【別紙 3】

平成29年度 特別養護老人ホームさくらぎの里 月別・ユニット別事故・ヒヤリハット発生件数

①場所別発生件数

	居室	リビング	トイレ	廊下	玄関	脱衣所	洗い場	施設外	その他	合計
4月	11	5	1			1			2	20
5月	9	6					3		1	19
6月	14	6	1	1		3	1			26
7月	11	6	2	1		4	2			26
8月	12	5	1						2	20
9月	8	2	1			1		1		13
10月	8	7					1			16
11月	14	5							1	20
12月	11	4				1				16
1月	6	6	1			1				14
2月	14	7	1	2				2	2	28
3月	8	1							2	11
合計	126	60	8	4	0	11	7	3	10	229

②時間別発生件数

	6:00～12:00	12:00～18:00	18:00～0:00	0:00～6:00	時間不明	合計
4月	7	8	4	1		20
5月	10	3	3	3		19
6月	9	10	5	2		26
7月	12	6	4	4		26
8月	7	4	5	4		20
9月	7	3		3		13
10月	4	8	1	3		16
11月	6	6	6	2		20
12月	6	4	6			16
1月	4	6	3	1		14
2月	12	6	7	3		28
3月	5	3	2	1		11
合計	89	67	46	27	0	229

③3時間毎発生件数

	6～9時	9～12時	12～15時	15～18時	18～21時	21～0時	0～3時	3～6時	時間不明	合計
4月	4	3	5	3	4			1		20
5月	6	4		3		3	2	1		19
6月	4	5	8	1	5	1	1	1		26
7月	5	7	6			4	3	1		26
8月	4	3	2	3	3	1	2	2		20
9月	4	3	3					3		13
10月	4		4	4	1		2	1		16
11月	3	3	2	4	6		1	1		20
12月	2	4	4	5	1					16
1月		4	1	5	1	2	1			14
2月	5	7	2	4	4	3	1	2		28
3月	4	1	2	1	2		1			11
合計	45	44	39	33	27	14	14	13	0	229

④種類別発生件数

	転倒転落すり落ち	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	その他	閉じこもり	胃瘻抜去	合計
4月	6	4						10			20
5月	2	3						14			19
6月	5	5		1		1		14			26
7月	3	7						16			26
8月	2		1		2			15			20
9月		3			2			8			13
10月	4	1			1	2		8			16
11月	5	4				1		10			20
12月	5	3				1		7			16
1月	1	2						11			14
2月	5	5		1	1	1		15			28
3月	2	3						6			11
合計	40	40	1	2	6	6	0	134	0	0	229

⑤ユニット毎種類別発生件数

	転倒転落すり落ち	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	その他	閉じこもり	胃瘻抜去	合計
からたち	12	4						15			31
こでまり	2	1		1	1	1		11			17
さざんか	2	12				1		15			30
ひいらぎ	4	8			1			27			40
やまぼうし	12	5		1	1	2		32			53
ゆきやなぎ	8	7			3	3		31			52
栄養課								6			
合計	40	37	0	2	6	7	0	137	0	0	229

【別紙 3】

平成29年度 特別養護老人ホームさくらぎの里 事故・ヒヤリハット報告書 発生件数報告書

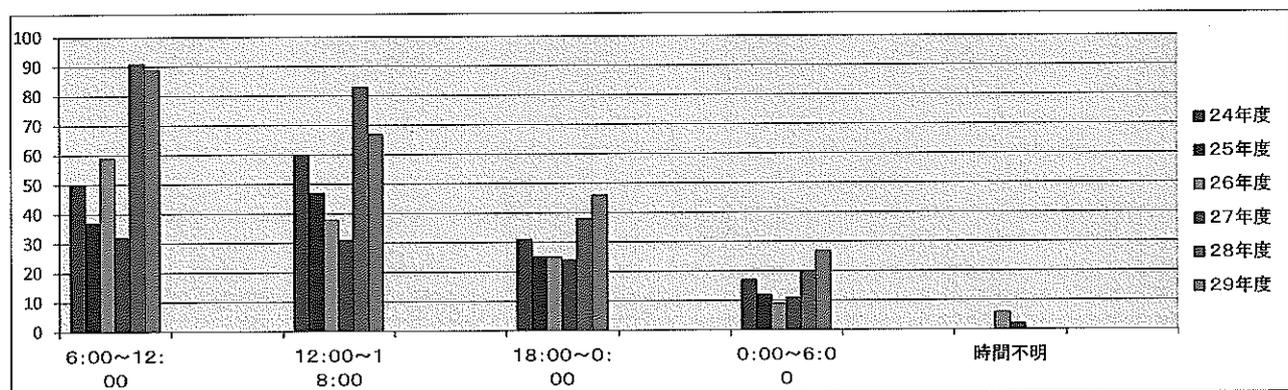
①場所別事故発生件数

	居室	リビング	トイレ	廊下	玄関	脱衣所	洗い場	施設外	その他	合計
24年度	94	29	9	2	2	4	8	1	9	158
25年度	74	27	3	2	1	4	4	1	5	121
26年度	79	31	5	3	0	5	11	0	3	137
27年度	56	28	7	0	0	1	4	1	3	100
28年度	125	62	9	1	1	15	5	2	12	232
29年度	126	60	8	4	0	11	7	3	10	229



②- I 時間別事故発生件数

	6:00~12:00	12:00~18:00	18:00~0:00	0:00~6:00	時間不明	合計
24年度	50	60	31	17	0	158
25年度	37	47	25	12	0	121
26年度	59	38	25	9	6	137
27年度	32	31	24	11	2	100
28年度	91	83	38	20	0	232
29年度	89	67	46	27	0	229

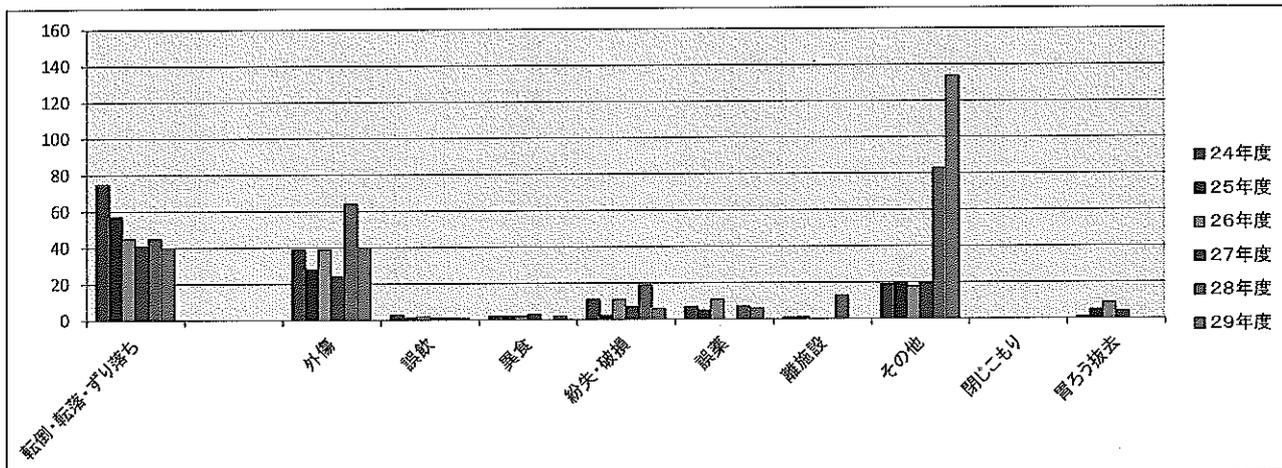


②- II 3時間毎の事故発生件数

29年度	6:00~9:00	9:00~12:00	12:00~15:00	15:00~18:00	18:00~21:00
	45	44	39	33	27
	21:00~0:00	0:00~3:00	3:00~6:00	時間不明	計
	14	14	13	0	229

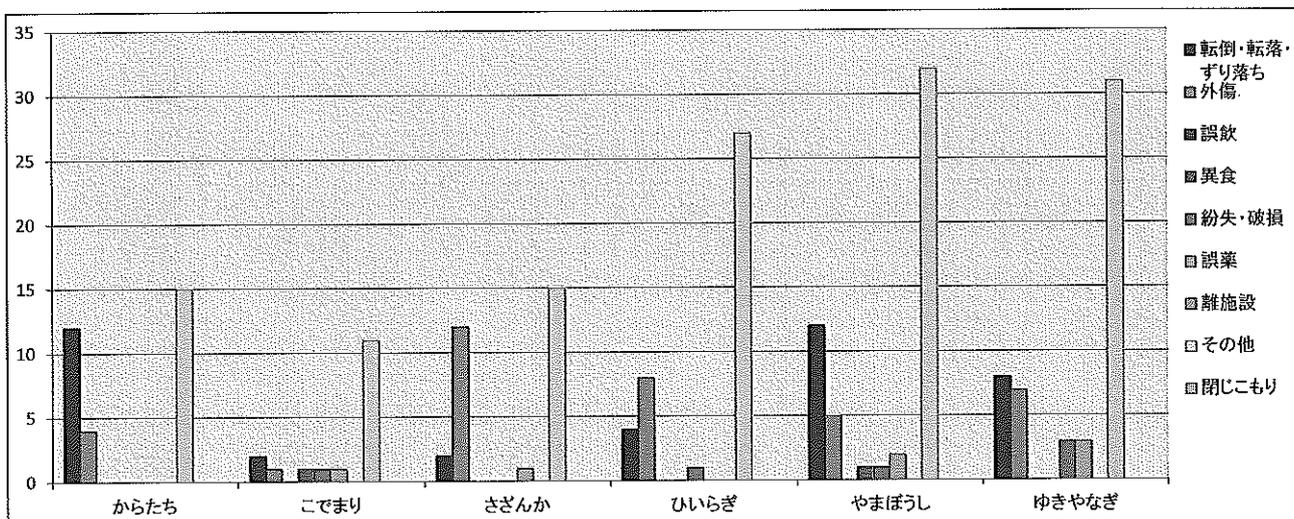
③-I 種類別事故発生件数

	転倒・転落・ずり落ち	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	その他	閉じこもり	胃ろう抜去	合計
24年度	75	39	3	2	11	7	1	19	0	1	158
25年度	57	28	1	2	2	5	1	20	0	5	121
26年度	45	39	2	2	11	11	0	18	0	9	137
27年度	41	24	1	3	7	0	0	20	0	4	100
28年度	45	64	1	0	19	7	13	83	0	0	232
29年度	40	40	1	2	6	6	0	134	0	0	229



③-II 平成29年度ユニット別・種類別事故発生件数

	転倒・転落・ずり落ち	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	その他	閉じこもり	胃ろう抜去	合計
からたち	12	4	0	0	0	0	0	15	0	0	31
こでまり	2	1	0	1	1	1	0	11	0	0	17
さざんか	2	12	0	0	0	1	0	15	0	0	30
ひいらぎ	4	8	0	0	1	0	0	27	0	0	40
やまぼうし	12	5	0	1	1	2	0	32	0	0	53
ゆきやなぎ	8	7	0	0	3	3	0	31	0	0	52
栄養課	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
合計	40	37	0	2	6	7	0	137	0	0	229



## 【別紙4】

## 平成29年度リハビリ・行事・ボランティア状況一覧表

月	日	行事名	利用者参加者数	実施者	備考
4	1・15	ギター倶会	32・29	ボランティア	藤村洋様
	4・12・19・27	グループ体操	31・26・27・23	リハ	
	10・11	習字	25	リハ	
	13	運動会(さざんか・ゆきやなぎ)	19	ユニット・リハ	
	18	臨床美術	10	外部講師	吉田滋子様
	27	フラワーアレンジメント	6	外部講師	星野美夏様
5	2・11・17・23・31	グループ体操	29・22・20・26・26	リハ	
	6	ギター倶会	33	ボランティア	藤村洋様
	12	アサガオ・ゴーヤ・カボチャ苗植え	34(見学者含め41名)	リハ	
	16	臨床美術	10	外部講師	吉田滋子様
	19	習字	21	リハ	
	20	北の街ナツメロ合奏団コンサート	53	ボランティア・施設	合奏団
	26	フラワーアレンジメント	8	外部講師	星野美夏様
6	2	チャグチャグ馬コ・つつみ幼稚園来設	58	施設	保存会・幼稚園
	3	ギター倶会	31	ボランティア	藤村洋様
	8・13・21・29	グループ体操	27・35・25・30	リハ	
	9	習字	25	リハ	
	20	臨床美術	11	外部講師	吉田滋子様
	24	コールパレッタコンサート	45	ボランティア	コールパレッタ
	29	フラワーアレンジメント	6(後日1名)	外部講師	星野美夏様
26・27・28	動物ふれあい外出	4・5・4	リハ・ユニット・医務・事務		
7	1	ギター倶会	23	ボランティア	藤村洋様
	3・11・20・26	グループ体操	29・33・23・26	リハ	
	4	折り紙教室	16(見学含め24)	小瀬川介護員・リハ	
	6・7	七夕会	32	リハ・ユニット・事務	
	14・19	さんさ踊り練習会	24・13	武藤事務長・リハ	
	18	臨床美術	11	外部講師	吉田滋子様
	24	夏まつり	59	施設	
27	フラワーアレンジメント	6	外部講師	星野美夏様	
8	3・8・16・31	グループ体操	27・31・31・26	リハ	
	9・10	さくらぎコーラス練習	20・23	廣澤調理員・リハ	
	11	真夏の雪まつり	30	事務・リハ	
	12・26	ギター倶会	26・23	ボランティア	藤村洋様
	14	カラオケ	13	リハ	
	15	習字	23	リハ・ユニット	
	25	ハワイアン映画会	45	リハ・事務・ユニット	
	29	臨床美術	11	外部講師	吉田滋子様
31	フラワーアレンジメント	5(後日2名)	外部講師	星野美夏様	
9	4・8・9	さくらぎコーラス練習・発表	21・22・23	廣澤調理員・リハ	
	6	習字	24	リハ・事務・ユニット	
	7・12・20・26	グループ体操	29・12・19・25	リハ	
	9	敬老会	54	施設	
	13	盛岡秋祭り山車見学	2	事務・リハ	
	16	ギター倶会	27	ボランティア	藤村洋様
	19	臨床美術	11	外部講師	吉田滋子様
21	フラワーアレンジメント	6(後日1名)	外部講師	星野美夏様	
10	5・10・18・26・31	グループ体操	30・33・26・28・33	リハ	
	7・28	ギター倶会	31・29	ボランティア	藤村洋様
	9	習字	25	リハ・ユニット	
	17	臨床美術	10	外部講師	吉田滋子様
	19	フラワーアレンジメント	7	外部講師	星野美夏様

11	1	寿司の日	36	施設	
	6・7	習字	27	リハ・ユニット	
	8・14・22・29	グループ体操	34・13・23・28	リハ	
	9	フラワーアレンジメント	7	外部講師	星野美夏様
	11	介護フェアコンサート	37	ボランティア	ハーモニカンサンブル盛岡
	21	臨床美術	10(後日1名)	外部講師	吉田滋子様
	25	北の街ナツメロ合奏団コンサート	43	ボランティア・施設	合奏団
	27・30	さくらぎコーラス練習	22・22	廣澤調理員・リハ	
12	4	グルッポ・アミーチコンサート	34	ボランティア	グルッポ アミーチ
	5・8・12・14・15・16	さくらぎコーラス練習・発表	14・17・22・23・23・22	廣澤調理員・リハ・吉田介護員	
	7・13・18・27	グループ体操	23・24・29・20	リハ	
	8・11	習字	23	リハ・ユニット	
	16	クリスマス会	57	施設	
	19	臨床美術	11	外部講師	吉田滋子様
	21	そば打ち実演見学	29	ボランティア	藤田文男様
	22	紅白歌合戦	28	リハ・事務・ユニット	
1	23	ギター唄会	29	ボランティア	藤村洋様
	29	フラワーアレンジメント	7	外部講師	星野美夏様
	2・4	新春書初め大会 & 福笑い	計30	リハ・ユニット	
	10・17・24・31	グループ体操	19・35・35・31	リハ	
	15	みずき団子作り	20	リハ・ユニット	
2	16	臨床美術	10	外部講師	吉田滋子様
	25	フラワーアレンジメント	8	外部講師	星野美夏様
	12	習字	26	リハ・ユニット	
	14・23・26	グループ体操	27・19・30	リハ	
	20	臨床美術	11	外部講師	吉田滋子様
	21	映画会	22	リハ	
3	22	フラワーアレンジメント	6	外部講師	星野美夏様
	28	ちゃんこ巡業	57	外部依頼	太五郎
	5・6	習字	25	リハ・ユニット	
	7・14・30	グループ体操	27・27・9	リハ	
	20	臨床美術	11	外部講師	吉田滋子様
	23	フラワーアレンジメント	6	外部講師	星野美夏様
3	28	のど自慢大会	37	リハ・ユニット・事務	
	31	ギター唄会	31	ボランティア	藤村洋様

【別紙 4】

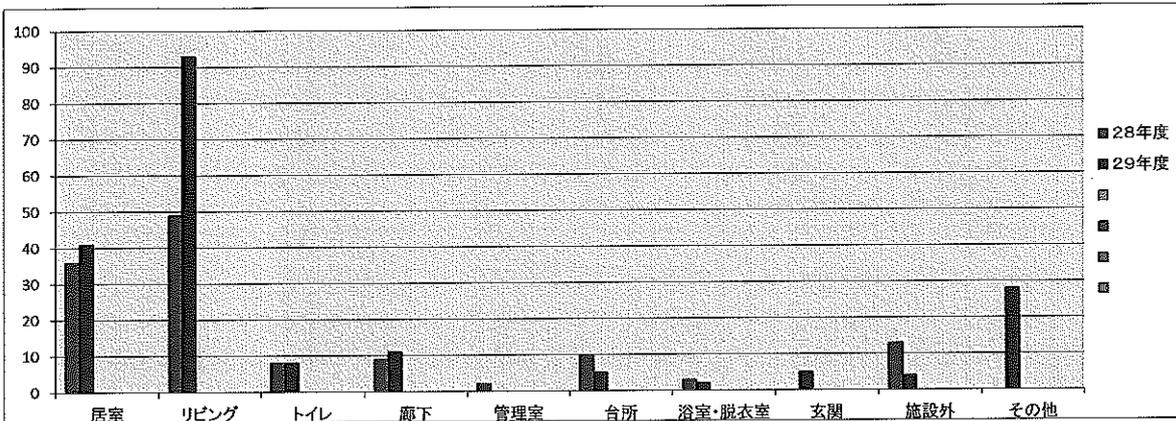
〈平成29年度ユニット行事実施状況〉

	からたち	こでまり	さざんか	ひいらぎ	やまぼうし	ゆきやなぎ
4月		買い物外出		お花見外出	ハーモニカ アンサンブル	お花見外出
5月	お花見外出					
6月	【チャグチャグ馬コ】	【チャグチャグ馬コ】	【チャグチャグ馬コ】	【チャグチャグ馬コ】	【チャグチャグ馬コ】 絵本の読み聞かせ	【チャグチャグ馬コ】 ケーキ作り体験
7月	【夏祭り】	【夏祭り】	【夏祭り】	【夏祭り】	【夏祭り】 紙芝居 絵本の読み聞かせ	【夏祭り】
8月						
9月	【敬老会】	【敬老会】	【敬老会】	【敬老会】	【敬老会】 絵本の読み聞かせ	【敬老会】
10月					大正琴演奏会 絵本の読み聞かせ	
11月	【介護フェア】	【介護フェア】	【介護フェア】	【介護フェア】	【介護フェア】 絵本の読み聞かせ	【介護フェア】 白寿お祝い 合同お誕生日会
12月	【クリスマス会】 【紅白歌合戦】	【クリスマス会】 【紅白歌合戦】	【クリスマス会】 【紅白歌合戦】	【クリスマス会】 【紅白歌合戦】	【クリスマス会】 【紅白歌合戦】 絵本の読み聞かせ	【クリスマス会】 【紅白歌合戦】
1月						
2月						
3月					絵本の読み聞かせ	お誕生日会

平成29年度 グループホームさくらぎ 事故・ヒヤリハット報告書 発生件数報告書

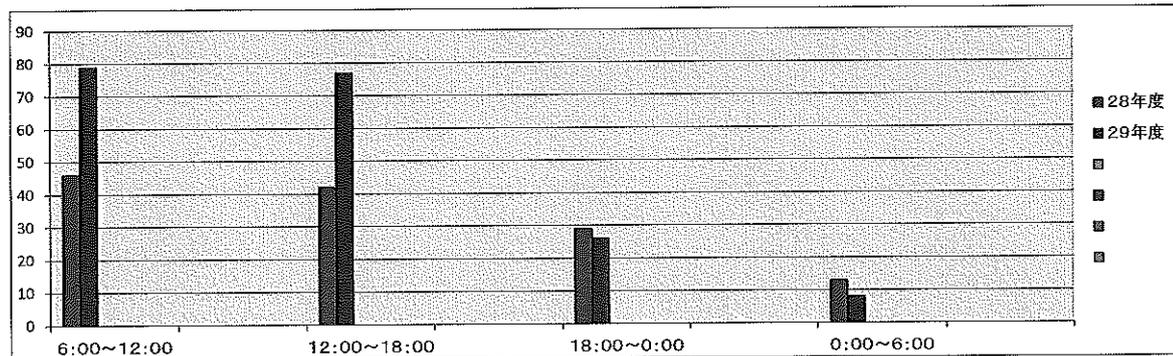
①場所別事故発生件数

	居室	リビング	トイレ	廊下	管理室	台所	浴室・脱衣室	玄関	施設外	その他	合計
28年度	36	49	8	9	2	10	3	0	13	0	130
29年度	41	93	8	11	0	5	2	5	4	28	197



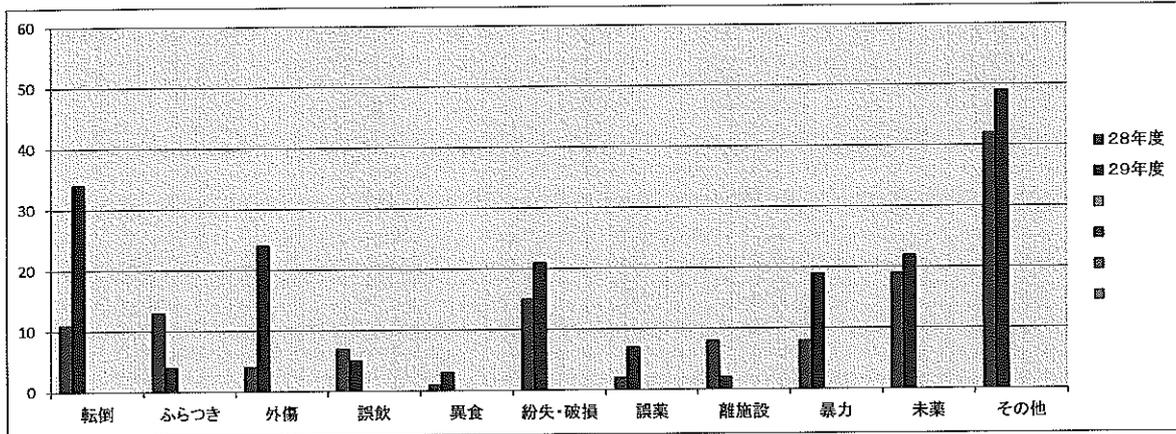
②-I 時間別事故発生件数

	6:00~12:00	12:00~18:00	18:00~0:00	0:00~6:00	合計
28年度	46	42	29	13	130
29年度	79	77	26	8	190



③ 種類別事故発生件数

	転倒	ふらつき	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	暴力	未薬	その他	合計
28年度	11	13	4	7	1	15	2	8	8	19	42	130
29年度	34	4	24	5	3	21	7	2	19	22	49	190
												0
												0
												0
												0



【別紙 5】

平成29年度 グループホームさくらぎ 月別・ユニット別事故・ヒヤリハット発生件数

①場所別発生件数

	居室	リビング	トイレ	廊下	管理室	台所	浴室・脱衣室	玄関	施設外	その他	合計
4月	4	2	1	0	0	0	0	1	0	0	8
5月	7	21	2	1	0	2	0	0	3	1	37
6月	2	12	2	0	0	0	0	1	0	0	17
7月	2	7	1	5	0	0	0	2	0	1	18
8月	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	9
9月	3	10	0	0	0	0	0	0	1	4	18
10月	3	4	2	1	0	0	0	0	0	7	17
11月	3	5	0	1	0	0	2	0	0	0	11
12月	1	6	0	2	0	3	0	0	0	3	15
1月	6	3	0	0	0	0	0	0	0	7	16
2月	2	5	0	1	0	0	0	0	0	3	11
3月	4	6	0	0	0	0	0	1	0	2	13
合計	41	93	8	11	0	5	2	5	4	28	190

②時間別発生件数

	6:00~12:00	12:00~18:00	18:00~0:00	0:00~6:00	合計
4月	4	3	1	0	8
5月	18	15	4	0	37
6月	7	5	3	2	17
7月	10	3	3	2	18
8月	3	3	2	1	9
9月	8	7	3	0	18
10月	9	5	3	0	17
11月	5	3	2	1	11
12月	5	7	2	1	15
1月	4	10	2	0	16
2月	3	7	0	1	11
3月	3	9	1	0	13
合計	79	77	26	8	190

④種類別発生件数

	転倒	ふらつき	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	暴力	未薬・投薬	その他	合計
4月	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	5	8
5月	2	0	1	2	1	4	1	0	10	6	10	37
6月	1	1	1	1	0	1	2	0	1	1	8	17
7月	4	2	2	0	1	1	0	1	2	2	3	18
8月	2	0	1	0	0	2	0	0	2	1	1	9
9月	0	0	5	1	0	1	0	0	0	6	5	18
10月	3	1	6	1	0	1	0	0	0	2	3	17
11月	4	0	4	0	0	2	0	0	0	0	1	11
12月	5	0	1	0	1	6	0	0	0	2	0	15
1月	6	0	1	0	0	0	1	0	1	0	7	16
2月	2	0	1	0	0	2	2	0	1	0	3	11
3月	4	0	0	0	0	0	1	1	2	2	3	13
合計	34	4	24	5	3	21	7	2	19	22	49	190